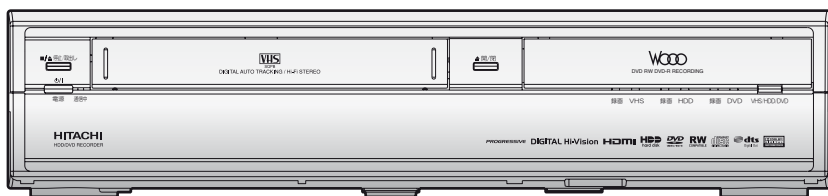
Wooo

日立ビデオ一体型ハイビジョンHDD/DVDレコーダー

# DV-DH500VH
# DV-DH250VH

## 取扱説明書



**はじめに**
本機には、はじめて電源を入れたときに、【初回設定】画面が表示され、テレビ放送の視聴に必要な設定を行う機能があります。
「初回設定のしかた」（参照 43ページ）をご覧になり、設定してください。

PROGRESSIVE
本機で録画用として使用できるのはDVD-RW、DVD-Rディスクです。

**maxell製「イージーセレクト」シリーズの「パイオニア / ソニー / 三菱 / シャープのレコーダーで使える!」DVD-RWディスクがご使用できます。**
**「松下 / 日立 / 東芝 / ビクターのレコーダーで使える!」DVD-RAMディスクはご使用できませんのでご注意ください。**

**HDD（ハードディスク）は一時的な保管場所です。**
万一何らかの不具合により、録画や再生ができなかった場合、HDDの内容（録画済の番組データなど）の補償や損失、直接・間接の損害について、当社は一切の責任を負いません。

本取扱説明書の内容は2007年9月現在の放送運用に基づいて作成されています。
今後の放送運用の変更により、一部内容が異なる場合があります。

◆ 本機は業務用途、監視用途には対応していません。

# もくじ

## はじめに



## 準備 接続



## 準備 初期設定

## テレビ放送を楽しむ



## 録画する



## 再生する



## ビデオを楽しむ

## 編集する



## ダビングする



## 便利な機能



## 設定を変更する



## 困ったときは

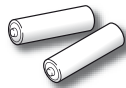


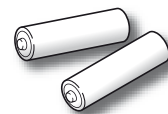
## その他

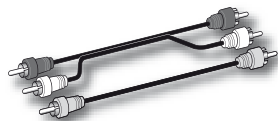
# はじめに



## 付属品が同梱されているかお確かめください。

◆ **リモコン**
DV-RM500VH

◆ **単4形乾電池**
(2個)
(リモコン動作確認用)

◆ らくリモ
DV-RM500HE

◆ **単3形乾電池**
(2個)
(らくリモ動作確認用)

◆ **同軸ケーブル**
(90cm)

◆ **映像・音声コード**
(100cm)

◆ **B-CASカード**

## アナログテレビ放送からデジタルテレビ放送への移行について

### デジタル放送への移行スケジュール

地上デジタルテレビ放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の都道府県の県庁所在地は2006年末までに放送が開始されました。今後も受信可能エリアは順次拡大されます。この放送のデジタル化に伴い、地上アナログテレビ放送は2011年7月までに、BSアナログテレビ放送は2011年までに終了することが、国の法令によって定められています。

## 重要なお知らせ

- 本機では操作先をVHSにしている場合、デジタル放送は選局できません。地上アナログ放送のチャンネルのみ選局できます。
- 地上アナログ放送終了後は、地上アナログ放送に関する機能はお使いいただけません。

## 著作権について

- **ディスクを無断で複製、放送、上映、有線放送、公開演奏、レンタル(有償、無償を問わず)することは、法律により禁止されています。**
- **ビデオデッキなどを接続してディスクの内容を複製しても、コピー防止機能の働きにより、複製した画面は乱れます。**
- 本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロビジョン社およびその他の著作権者が保有する米国特許およびその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、マクロビジョン社の許可が必要で、また、マクロビジョン社の特別な許可がない限り家庭用およびその他の一部の観賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。
- 本機は、ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビーおよびダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。
- ドルビーデジタルステレオクリエーターによって、ドルビーデジタルの目の覚めるような音質でステレオ音声のDVDビデオを作成することができるようになります。この技術をPCM記録の代わりに用いることで記録容量を節約することが可能となり、その結果、より高い解像度(ビットレート)の映像、または、より長い記録時間を実現することが可能になります。ドルビーデジタルステレオクリエーターを用いてマスタリングしたDVDはすべてのDVDビデオプレーヤーで再生することが可能です。
注: 使用した記録型DVDに対してプレーヤーが互換性を持っている場合。
- "DTS"及び"DTS Digital Out"は、DTS社の登録商標です。
- DVDロゴは、DVDフォーマットロゴライセンシング株式会社の登録商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing,LLCの商標または登録商標です。

## リサイクルについて

本製品の梱包材はリサイクルができ、再利用が可能です。お住まいの地域のリサイクルに関する取り決めにしたがって梱包材を処分してください。乾電池は、投棄や焼却処分をしないで、化学廃棄物に関する地方自治体の規制にしたがって処分してください。

**地上デジタルテレビ放送の受信に関する相談・お問い合わせは総務省まで**
**総務省地上デジタルテレビジョン放送受信相談センター**
TEL **0570-07-0101**
受付時間　9:00～21:00(平日)　9:00～18:00(土、日、祝祭日)
http://www.dpa.or.jp　(2007年9月現在)

## 本書の見かた

- **本書は、リモコン操作を主体として、本機の操作を説明しています。らくリモでのご使用は、 別冊「録る」「見る」が簡単「らくリモ」操作ガイド をご覧ください。**
- イラストや表示画面は、説明用に簡略化しており、実際のものとは多少異なります。
- 本書では、ハードディスクをHDDと表記しています。

**<例：実際に記載されている内容とは異なります。>**

## ◉本書にでてくるメディアアイコンの見かた

本文見出し下部や注意書き部分に下記のマークが記されています。それぞれの意味は次の通りです。

- HDD：HDD（内蔵）で楽しめる機能を表します。
- DVD -RW VRモード：DVD-RWディスク（VRモード）で楽しめる機能を表します。
- DVD -RW ビデオモード：DVD-RWディスク（ビデオモード）で楽しめる機能を表します。
- DVD -R VRモード：DVD-Rディスク（VRモード）で楽しめる機能を表します。
- DVD -R ビデオモード：DVD-Rディスク（ビデオモード）で楽しめる機能を表します。
- DVD ビデオ：DVDビデオディスクで楽しめる機能を表します。
- CD：音楽用CDディスクで楽しめる機能を表します。
- JPEG：JPEG形式のファイルが記録されたCD-RW、CD-Rで楽しめる機能を表します。
- テープ：ビデオテープで楽しめる機能を表します。VHS マークの付いているビデオテープをお使いください。

**本書で例として記載している各画面の内容やキーワードは説明用です。**

# 安全にお使いいただくために

◆ **誤った取り扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。**

| | | | |
|---|---|---|---|
| ⚠警告 | 誤った取り扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結び付く可能性があるもの | ⚠注意 | 誤った取り扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結び付く可能性があるもの |

◆ **図記号の意味は次のとおりです。**

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
|  | 絶対に行わないでください |  | 絶対に分解・修理はしないでください |  | 絶対に触れないでください |
|  | 絶対に水にぬらさないでください |  | 絶対にぬれた手で触れないでください |  | 指のケガに注意してください |
|  | 必ず指示にしたがい、行ってください |  | 必ず電源プラグをコンセントから抜いてください |  | 手をはさまないよう注意してください |

## ⚠警告

### 万一異常が発生したときは、電源プラグをすぐ抜く!!

異常のまま使用すると、火災や感電の原因となります。すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に修理をご依頼ください。

プラグを抜く

プラグを抜く

### 煙がでている、変なにおいがするなど、異常なときは、電源プラグをすぐ抜く!!

**異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因となります。すぐに電源を切ったあと電源プラグをコンセントから抜き、煙がでなくなるのを確認して、販売店に修理をご依頼ください。**

分解禁止

### キャビネット(天板)をはずしたり、改造しない

**火災や感電の原因となります。また、レーザー光が目に当たると、視力障害をおこす原因となります。内部の点検・調整・修理は、販売店にご依頼ください。**

禁止

### 不安定な場所には置かない

**ぐらついた台の上や傾いた所などに置くと、落ちたり倒れたりして、けがの原因となります。**

使用禁止

### 落としたり、キャビネット(天板)を破損した場合は使わない

**火災や感電の原因となります。**

水ぬれ禁止

### 花びんやコップ、植木鉢などを上に置かない

**内部に水や異物が入ると、火災や感電の原因となります。**

水ぬれ禁止

### 水でぬらさない

**火災や感電の原因となります。
雨天、降雪中、海岸、水辺などの屋外や、窓辺での使用は、特にご注意ください。**

### 乾電池を放置しない

**乾電池は飲み込むおそれがあるので、乳幼児の手の届かないところに置いてください。
万一、お子様が飲み込んだ場合は、窒息や胃などへの障害の原因になるので、ただちに医師と相談してください。**

## ⚠警告

禁止

### 異物を入れない（特にお子様にご注意を）

トレイ開閉口や通風孔から金属類や燃えやすいものなどが入ると、火災や感電の原因となります。

禁止

### 電源コードを傷つけない

- 引っ張らない
- ねじらない
- 無理に曲げない
- 束ねない
- 加熱しない
- 加工しない
- 重いものをのせない

コードが傷ついて、火災や感電の原因となります。電源コードの芯線が露出したり断線するなど、コードが傷んだときは、すぐに販売店に修理をご依頼ください。

接触禁止

### 雷が鳴りだしたら、電源コードには触れない

感電の原因となります。

AC100V

### 電源はAC（交流）100Vを使う

AC（交流）100V以外の電源で使用すると、火災や感電の原因となります。

禁止

### タコ足配線をしない

火災の原因となります。

水ぬれ禁止

### ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となります。

## ⚠注意

禁止

### 設置時は、次のような場所には置かない

- 湿気やほこりの多い場所
- 油煙や湯気が当たる場所
- 直射日光の当たる場所
- 熱器具の近く
- 閉めきった自動車内など、高温になるところ

このような場所に置くと、ショートや発熱、電源コードの被膜が溶けるなどして、火災や感電、故障、変形の原因となることがあります。

禁止

### 風通しの悪いところ、狭いところに置かない

- 押し入れや本棚などに押し込まない
- じゅうたんや布団の上に置かない
- テーブルクロスなどをかけない

内部に熱がこもり、火災や感電、故障、変形の原因となることがあります。

禁止

### テレビなどの重いものを上に置かない

- 上にのらない（特にお子様にご注意を）
- トレイの前に物を置かない

バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがや故障の原因となることがあります。

# ⚠注意

## 接続したまま移動させない

禁止

電源コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。電源コードや接続コードをはずしたことを確認してから移動させてください。
また、ディスクは取り出しておいてください。

## トレイ開閉口から手を入れない（特にお子様にご注意を）

指のケガに注意

手はさみ注意

手がはさまれ、けがの原因となることがあります。万一、手がはさまれたときは、無理に引き抜かず、電源を切ったあと電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。

## 3年に一度は、内部の清掃を販売店に依頼する

内部清掃

内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと、火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うのが効果的です。内部掃除費用については、販売店にご相談ください。

## 電源プラグのほこりなどは定期的に取り、差し込みの具合を点検する

ほこりを取る

ほこりなどが付いたり、コンセントへの差し込みが不完全な場合は、火災や感電の原因となることがあります。1年に1回はプラグとコンセントの定期的な清掃をし、最後までしっかり差し込まれているか点検してください。

## ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しない

禁止

飛び散ってけがの原因となることがあります。

## 電源プラグを持って抜く

プラグを持つ

電源コードを引っ張ると、コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。

## お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて行う

プラグを抜く

感電の原因となることがあります。

## 長時間の外出や旅行のときは、電源プラグをコンセントから抜いておく

プラグを抜く

## 乾電池はプラス（+）とマイナス（-）の向きを正しく入れる

正しく入れる

間違えると、乾電池の破裂や液もれによって、火災やけが、周囲を汚す原因となることがあります。

## 乾電池は指定以外のものを使わない

禁止

- 種類の異なるものを混ぜて使わない
- 新しいものと古いものを混ぜて使わない

指定以外のものを使うと、乾電池の破裂や液もれによって、火災やけが、周囲を汚す原因となることがあります。

## 乾電池は分解したり、ショートさせたり、火の中に投入しない

禁止

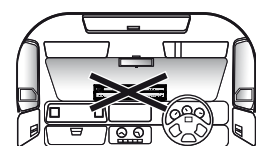
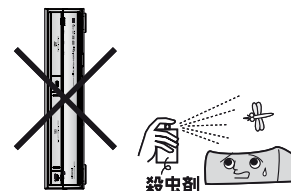
## 乾電池を充電しない充電式の電池は使用しない

禁止

# 使用上のお願い

## ◉置き場所や取り扱い

- **本機は振動や衝撃・温度などの周囲の環境の変化に影響されやすいHDDなどの部品を使用した精密な機器です。取り扱いは慎重に行ってください。**
- ほかの機器と近付けすぎると、機器がお互いに悪影響を与えることがあります。
- 本機をテレビやビデオデッキと上下に重ねて置くと、映像や音声が乱れたりディスクが出ないなどの故障の原因となることがあります。
- 本機の近くで携帯電話やPHSを使用すると、映像や音声にノイズが入ることがありますので、本機からできるだけ離してご使用ください。
- 本機を移動する場合は、ディスクやビデオテープを取り出してから行ってください。
- 強い磁気を持っているものを近づけると、映像や音声に悪影響を与えたり、記録が損なわれることがあります。
- タテ置きではご使用にならないでください。
- キャビネットに殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。
また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにすると、変質したり塗装がはげるなどの原因となります。

- ワックスのかかった床などに直接置くと、本機底面のすべり止め用ゴムと床材の密着性が上がり、床材のはがれや着色の原因となることがあります。
- ご使用にならないときは、ディスクやビデオテープを取り出し電源を切ってください。
- 長期間ご使用にならないときは、液もれを防ぐため、リモコンの乾電池を取り出しておいてください。
- 本機は日本国内専用です。放送方式、電源電圧の異なる海外では使用できません。また、海外でのアフターサービスもできません。
(This unit is designed for use in Japan only and cannot be used in any other countries. No servicing is available outside of Japan.)
- 車載で使用した場合、自動車特有のノイズをひろい、映像や音声が乱れます。
- 窓を閉めきった自動車内では、夏場は高温になり、キャビネットが変形し、発火、発煙事故の恐れがあります。また冬場や雨期には結露が発生し、本機の故障の原因になります。
- 市販されている電源コンバーターなどや自動車に付いているACコンセントを使って本機を使用しないでください。
- 本機の内部にほこりが溜まらないように、設置場所の定期清掃を行ってください。ほこりが溜まりますと故障の原因となる場合があります。

## ディスクの取り扱い

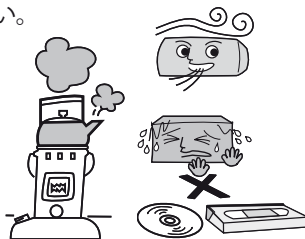
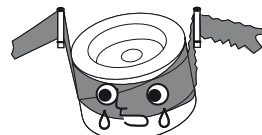
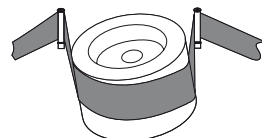
- 記録面に触れないようにディスクの端を持ってください。
- 紙やシールなどを貼ったり、傷をつけたりしないでください。
- 直射日光の当たる場所や熱器具のそばなど、高温になる場所には置かないでください。
- 使用後は、所定のケースに入れて、保管してください。ケースにいれずに重ねたり、ななめに立てかけて置くとディスクの反りの原因になります。
- 指紋やほこりによるディスクの汚れは、音質や画質低下の原因となります。いつもきれいに清掃しておきましょう。
- お手入れは、柔らかい布でディスクの中心から外のほうへ軽くふきます。汚れがひどいときは、柔らかい布を水に浸し、よくしぼってからふき、乾いた布で水気をふき取ってください。

- ベンジン/レコードクリーナー/静電気防止剤などは、逆にディスクを傷めることがありますので、使わないでください。
- 録画や再生が楽しめるディスクの種類については、「録画・再生ができるメディア」(参照 14ページ)をご覧ください。
- 新しいディスクを使用する場合は、ディスクの外周や中心の穴にギザギザが残っている場合があります。
ギザギザが残っている状態で使用すると誤作動の原因となりますのでボールペンなどでこすり、ギザギザを取り除いてください。

## レーザーピックアップについて

- 本書の該当部分と「故障かな?と思ったときは」(参照 184ページ)をお読みになり、操作を行っても本機が正常に動作しない場合は、レーザーピックアップが汚れている可能性があります。点検・清掃については、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 市販のレンズクリーナーディスクは、レンズを破損する恐れがあるため、使用しないでください。

## ◉結露（つゆつき）について

- 暖かい部屋の窓ガラスに水滴が付くことがあります。これを結露（またはつゆつき）と呼びます。本機に結露が発生した場合は、本機内部のビデオヘッドやピックアップレンズ、ディスクに水滴がつきます。乾燥させないかぎり、本機はご使用になれません。
- 結露が発生した場合はビデオテープやディスクを本機に挿入しないでください。（本機やビデオテープ、ディスクを傷めてしまいます。）結露が発生しているときに、ビデオテープが本機に挿入された場合、ビデオヘッドにビデオテープが貼り付き、巻きついてしまい、ビデオテープや本機を傷めてしまいます。また、ディスクが本機に挿入された場合、ディスク信号が読み取れず、本機が正常に動作しないことがあります。
- 本機はよく乾燥した状態でお使いください。
  結露が発生した場合、電源プラグをコンセントへ差し込み、電源を入れて約1～2時間、または、電源を入れないで2～3時間、乾燥するまで放置した上で本機をご使用ください。
- 次のようなときに結露になりやすいので、ご注意ください。
  - 本機を寒いところから暖かい部屋に移動したとき
  - 急に部屋を暖房したとき
  - エアコンなどの冷風が直接当たるところ
  - 湿気の多いところ

## ◉お手入れについて

中性洗剤

- キャビネットや操作パネルの汚れは、柔らかい布で軽くふき取ってください。
  汚れのひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってからふき取り、最後にかわいた布でからぶきしてください。中性洗剤をご使用の際は、その注意書をよくお読みください。
- シンナー、ベンジンなどは使用しないでください。
  傷んだり、塗料がはがれたりすることがあります。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書にしたがってください。

## ◉アンテナについて

- 妨害電波をさけるために、電線や道路などからなるべく離してください。
- 風雨にさらされているので、定期的に点検・交換することをおすすめします。
- アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。

# 正しくお使いいただくために

## 映像出力端子の選択

**お使いになるテレビの端子を確認し、下記から使用する端子をいずれか一つ選択のうえ、選択した端子のみを接続してください。**
（参照 36、37、38ページ）
**また、本機の【映像出力端子設定】を正しく設定して、ご使用ください。**
（参照 46ページ）

- HDMI出力端子※1
- D映像出力端子※1
- 映像出力端子またはS映像出力端子※2

※1　HDMI出力端子もしくはD映像出力端子をご使用時

- HDMI出力端子とD映像出力端子は、いずれか一方のみから映像・音声が出力されます。
  HDMI出力端子とD映像出力端子を同時接続すると、HDMI出力端子側が優先となりD映像出力端子からは映像が出力されません。D映像出力端子から映像を出力するには、HDMI出力端子の接続をはずしてください。
- 【セットアップ】画面の【映像・音声設定】−【映像出力端子設定】を【HDMI端子またはD端子】に設定してください。
  【映像出力端子またはS映像出力端子】を選択している場合、HDMI出力端子およびD映像出力端子からは映像が出力されません。
- HDMI出力端子とD映像出力端子を同時接続している場合で、XP、SP、LP、EPモードでの録画中は、本機側で映像信号の出力切換を禁止しています。そのため、録画中にHDMIケーブルを抜くと、D映像出力端子に接続しているテレビには何も表示されません（黒い画面が表示されます）が、故障ではありません。

※2　映像出力端子もしくはS映像出力端子をご使用時

- 【セットアップ】画面の【映像・音声設定】−【映像出力端子設定】を【映像出力端子またはS映像出力端子】に設定してください。
  【HDMI端子またはD端子】を選択している場合、映像は出力されますが、機能に制限が生じます。（参照 46ページ）

## 視聴中の画面変化に関するご連絡

**下記の動作中は、視聴中の画面には変化が生じますが、録画された番組には影響はありません。（故障ではありません。）**

- デジタル放送番組を視聴中またはDVDビデオソフト等を再生中に、TSモード以外での録画予約を開始したときに一瞬黒い画面となります。
- デジタル放送番組を視聴中またはDVDビデオソフト等を再生中に、TSモード以外での予約録画をされている間は、【セットアップ】画面の【映像・音声設定】−【D端子解像度設定】を【D2】〜【D4】で設定されている場合でもD映像出力端子からの映像がD1信号（SD画質）になります。
  録画が終了すると、【D端子解像度設定】にしたがった信号に戻ります。

## デジタル放送を視聴する場合のご注意

デジタル放送を視聴する場合は、VHS/HDD/DVD操作切換を、HDDもしくはDVDに設定してからお楽しみください。
VHS/HDD/DVD操作切換がVHSに設定されている場合はアナログ放送のみが視聴可能です。デジタル放送を視聴中にVHSに設定を切り換えた場合は、視聴の放送が自動的にアナログ放送に切り換わりますので、再度デジタル放送を視聴する場合には、下記の手順で再設定してください。

1. **VHS/HDD/DVD操作切換を、HDDまたはDVDに設定する**
2. **放送切換を、デジタル放送に設定する**

## デジタル放送を録画される場合のご注意

デジタル放送はHDDへのみダイレクト録画が可能です。
DVDやビデオテープへ録画したい場合は、一度HDDへ録画したあとに、DVDもしくはビデオテープへダビングしてお楽しみください。
ただし、ハイビジョン画質でHDD記録された映像も、標準画質でのダビングとなります。

## 録画予約される場合のご注意

録画予約はHDDまたはDVDへ録画する場合のみ設定可能です。
ビデオテープへの録画予約はできません。ビデオテープへ録画したい場合は、一度HDDへ録画したあとにテープへダビングしてお楽しみください。

## 二カ国語（二重音声）放送の録画に関するご注意

録画先およびディスクの記録フォーマットにより、下記の二種類の音声記録方式がありますので、あらかじめご確認ください。
（参照 20ページ）

- 【セットアップ】画面の【録画設定】−【二カ国語音声】の設定にしたがい、主音声/副音声の一方のみを記録する方式
- 主音声/副音声の両方を記録する方式（再生時に音声を選択できます。）

# HDD/ディスク/ビデオテープについて

## ◉HDDについて

HDD（ハードディスク（ドライブ））
本機に内蔵されているHDDは、大容量データ記録装置の1つで、大量のデータの読み書きを高速で行うことができ、記録されているデータの検索性にすぐれています。

### 次のようなことは行わないでください

- **本機に振動や衝撃を与えないでください。特に本機の電源が入っているときは、お気を付けください。**
- **本機の電源が入っている状態で、電源プラグを抜かないでください。**
- **本機の電源が入っている状態や電源を切った直後は、本機を持ち上げたり動かしたりしないでください。（電源を切ったあと、2分以上経過してから行ってください。）**
- **本機が結露した状態で使わないでください。**

### HDDは、録画（録音）内容の恒久的な保管場所とせず、一時的な保管場所としてお使いください

- 大切な録画（録音）内容は、DVD-RW、DVD-Rやビデオテープに保存しておくことをおすすめします。
- HDDは、使用する場所の環境や使用状況が過酷な場合、数年で寿命となり、録画（録音）内容が再生できなくなることがあります。
- 部分的または全体的に次のような症状が頻繁に発生するようになった場合、HDDの寿命が近くなっています。
  - 再生できない、再生一時停止を繰り返す
  - ブロックノイズ（モザイク状のノイズ）が発生する
  - 映像が乱れる

### その他

- HDDは、振動や衝撃、温度などの周囲の環境の変化に影響されやすい精密な機器です。場合によっては、録画（録音）内容が失われたり、正常に動作しなくなる恐れがあります。
- HDDが故障すると、HDDの録画（録音）内容が失われることがあります。
- 内蔵のHDDをはずして、お客さま自身でHDDを交換することはできません。（正常に動作しません。また、保証期間内であっても保証が無効となります。）
- HDDは、お買い上げ時には何も録画されていません。あらかじめ番組などを録画してから、再生をお楽しみください。

## ◉DVD/CDについて

### DVD/CD全般

#### 次のような場合は、正常に録画・再生できません。

- **記録状態、ディスクの特性、傷、汚れ、本機の録画/再生用レンズの汚れ、結露などがあるとき。**
- **本機で録画したディスクを、パソコン、カーナビゲーション、カーオーディオ、ゲーム機などで再生するとき。**
- **パソコンなどで作成されたディスクを本機で再生するとき。**
  このようなディスクを本機に入れて、ディスクが取り出せなくなった場合は「故障かな？と思ったときは」（参照 184ページ）をご覧になり、対処してください。
- PAL方式などのNTSC方式以外で記録されたDVDや、無許諾（海賊版など）のDVD/CD。
- クローズド・キャプション（Closed Caption）の録画・再生。
- 8cm盤のディスクに、アダプターを付けて再生したとき。

### DVD-RW、DVD-R

- **他機で録画してファイナライズしていないディスクは、本機で正常に再生・録画・編集ができなかったり、ディスクの録画内容が失われたりすることがあります。**
- CPRM対応のディスクは、CPRM対応のDVDプレーヤー/レコーダーでのみ再生できます。
- DVD-RW、DVD-Rの1倍速ディスクを使用する場合は、ディスクの取り出しに時間がかかることがあります。
- 8cm盤のディスクは、アダプターなしで再生できます。

### DVDビデオ

- ディスクによっては、ソフト制作者の意図により本書の記載どおりに動作しないことがあります。詳しくは、ディスクの説明書をご覧ください。
- 8cm盤のディスクは、アダプターなしで再生できます。

### 音楽用CD

- 音楽用CDは、ディスクレーベル面に COMPACT disc DIGITAL AUDIO マークの入ったものなど、JIS規格に合致したディスクをご使用ください。
- CD規格外の音楽用CD（コピーコントロール付きCDなど）やMP3ファイル形式で録音されたディスクは、まったく再生できないか、正常に再生できないことがあります。
- 8cm盤のディスクは、アダプターなしで再生できます。

### JPEG形式のファイルについて

- 「jpg(JPG)」、「jpeg(JPEG)」拡張子が付いたファイルでも、JPEG形式で記録されていないものは、再生するとノイズがでることがあります。
- 最大255フォルダ、999ファイルまで対応しています。
- ファイルサイズは、12MBまで対応しています。
- 画素数は、32×32～6300×5100まで対応しています。
- 使用できるディスクは、ISO9660でフォーマットされているCD-RW、CD-Rのみです。
- 記録状態によっては、正常に再生できないことがあります。
- プログレッシブ形式の静止画（JPEG形式）は再生できません。
- Motion JPEGには対応していません。
- 8cm盤のディスクは、アダプターなしで再生できます。

## ◉本機で使用できる機能について

録画や再生するメディアにより、本機で使用できる機能は異なります。
デジタル放送などの場合、番組によっては著作権保護のため録画が禁止されたり、制限されていることがあります。
（下表および「録画の制限について」（参照 16ページ）をご覧ください。）

### 録画・再生ができるメディア

下記表に記載されている、DVD高速記録対応ディスクをご使用時でも、本機のダビング速度は最高4倍速となります。
また、DVD-RW、DVD-Rの2層ディスクの記録には対応していません。

○：できる　△：ダビングのみできる　×：できない

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| メディアのロゴ | | – | DVD RW ※1 | | DVD R R4.7 ※1 | | VHS |
| メディアサイズ | | – | 12cm盤　片面1層<br>8cm盤　片面1層 | | 12cm盤　片面1層<br>8cm盤　片面1層 | | – |
| 本書で使用されているアイコン | | HDD | DVD -RW VRモード | DVD -RW ビデオモード | DVD -R VRモード | DVD -R ビデオモード | テープ |
| 記録フォーマット | | – | VRモード | ビデオモード | VRモード | ビデオモード | – |
| 再生 | 再生 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 再生リストの表示 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × |
| | 追いかけ再生 | ○ | × | × | × | × | × |
| | 再生音声の切換 | ○ | ○ | × | ○ | × | ○ |
| 記録条件など | | – | 高速記録6倍速ディスクまで対応 ※1<br>（本機での実動作は2倍速まで対応）<br>Ver. 1.1<br>Ver. 1.1（CPRM対応）※2<br>Ver. 1.2（CPRM対応）※2 | | 高速記録16倍速ディスクまで対応 ※1<br>（本機での実動作は4倍速まで対応）<br>Ver. 2.0<br>Ver. 2.0（CPRM対応）※2 | | – |
| 録画 | デジタル放送の「制限なしに録画可能」番組 | ○ | △ ※1、3 | △ ※1、3 | △ ※1、3 | △ ※1、3 | △ ※3 |
| | デジタル放送の「1回だけ録画可能」番組 | ○ | △ ※1、2、3 | × | △ ※1、2、3 | × | △ ※3 |
| | デジタル放送の「録画禁止」番組 | × | × | × | × | × | × |
| | 番組表からの録画 | ○ | × | × | × | × | × |
| | 地上アナログ放送、外部入力 ※4 | ○ | ○ ※1 | ○ ※1 | ○ ※1 | ○ ※1 | ○ |
| | 上書き録画 | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ |

※1　ディスクや録画条件によっては、録画やダビングまたは再生ができない場合があります。
　　また、ディスクに表示の倍速で記録できない場合があります。

※2　デジタル放送の「1回だけ録画可能」番組は、CPRM対応のDVD-RW、DVD-RのVRモードにのみダビングできます。この場合、ダビング方法は「ムーブ」（移動）となり、ダビング後はダビング元（HDD）の番組は残りません。（消去されます。）

※3　デジタル放送のHD放送を、ハイビジョン画質のままDVD-RW、DVD-R、ビデオテープにはダビングできません。標準画質でダビングされます。

※4　ケーブルテレビ（CATV）や「ｅ２ｂｙ スカパー！」などの「1回だけ録画可能」「録画禁止」番組の録画やダビングについては、デジタル放送の「1回だけ録画可能」「録画禁止」番組の場合と同様となります。

- DVD-RW、DVD-Rは、ビデオ機器用（for VIDEO）をお使いください。パソコン用（for DATA）では、一部の機能が正常に働かないことがあります。
- DVD-RW、DVD-R（ビデオモード）の場合、録画時のアスペクト比は【セットアップ】画面の【録画設定】－【録画アスペクト（ビデオモード）】で設定できます。（参照 171ページ）

**Point**

- ビデオテープには、地上アナログ放送と外部入力でのみ直接録画できます。（デジタル放送の録画や録画予約はできません。）
- HDDやDVD-RW、DVD-Rへの番組やプレイリストの記録可能数は、「番組の最大録画可能数とチャプター登録数」（参照 18ページ）をご覧ください。

## 再生のみできるメディア

下記表に記載されているディスクをご使用時でも、記録時間が短いディスク、ディスクの記録状態、傷や汚れなどディスク自体の状態、本機のピックアップレンズの状態や、ディスクと記録用機器との相性により再生できない場合があります。

○：できる　×：できない

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| メディアのロゴ | | DVD VIDEO ※5 | COMPACT disc DIGITAL AUDIO / COMPACT disc DIGITAL AUDIO Recordable / COMPACT disc DIGITAL AUDIO ReWritable ※6 | COMPACT disc Recordable / COMPACT disc ReWritable ※7 |
| メディアサイズ | | 12cm盤　片面1層/2層<br>8cm盤　片面1層/2層 | 12cm盤<br>8cm盤（シングル） | 12cm盤<br>8cm盤 |
| 本書で使用されているアイコン | | DVDビデオ | CD | JPEG |
| 記録フォーマット | | ビデオモード | 音楽用CD(CD-DA)フォーマット | JPEG形式のファイル |
| 再生 | 再生 | ○ | ○ | ○ |
| | 再生リストの表示 | × | ○ | ○ |
| | ランダム/プログラム再生 | × | ○ | ○/× |
| | 再生音声の切換 | ○ | ○ | × |
| 記録条件など | | 2 ALL<br>リージョン番号（再生可能地域番号）<br>「2」または、「ALL」 | – | – |

※5　本機はNTSC（日本のテレビ方式）に適合しています。PALやSECAMなど、ほかのテレビ方式で記録されたディスクは再生できません。
※6　音楽用CDフォーマットで記録され、ファイナライズ済みのディスクのみ再生できます。
※7　静止画像JPEG形式（拡張子が「jpg(JPG)」、「jpeg(JPEG)」）のファイルで、ファイナライズ済みディスクのみ再生できます。

- DVD-RW（VRモード）に録画したディスクは、RW COMPATIBLE 表示の付いたVRモード対応のDVDプレーヤー/レコーダーでのみ再生できます。

| | |
|---|---|
| RW COMPATIBLE | この表示は、DVDレコーダーでVRモード（ビデオレコーディングフォーマット）記録されたDVD-RWディスクが再生できる機能を示します。ただし、「1回だけ録画可能」番組を録画したディスクは、CPRM対応機器で再生が可能です。 |

- DVD-RのVRモードに録画したディスクは、DVD-RのVRモードに対応したDVDプレーヤー/レコーダーでのみ再生できます。
- CPRM対応のディスクは、CPRM対応のDVDプレーヤー/レコーダーでのみ再生できます。
- **+RW、+Rについては、ビデオモードで録画後にファイナライズされたディスクの再生のみできます。**
- **DVD-RAMについては、ほかのDVDレコーダーのVRモードで録画されているディスクで、カートリッジからディスクを取り出せるタイプのディスクのみ再生できます。**

## DVDビデオに記載されているマークについて

| | | |
|---|---|---|
| **映像アスペクト比表示** | 例 4:3　16:9 LB　16:9 PS | アスペクト比切換可能な画面タイプを示すマークです。<br>縦横比が4:3、16:9やレターボックス、パンスキャンなどを示します。 |
| **音声記録方式** | 例 4 | 複数の音声トラックが収録されていることを示すマークです。<br>マーク内に記載されている数字は、音声数を示します。 |
| **サブタイトル表示** | 例 2 | ディスクに収録されている字幕言語数を示すマークです。<br>マーク内に記載されている数字は、字幕言語数を示します。 |
| **マルチアングル機能表示** | 例 2 | マルチアングル機能を有するディスクであることを示すマークです。<br>マーク内に記載されている数字は、アングル数を示します。 |

**Point**

- 8cm盤ディスクの再生には、8cmアダプターは使用しないでください。故障の原因となります。
- 上記のロゴが入ったディスクをご使用ください。規格外ディスクを使用されても、再生の保証や画質・音質の保証はいたしかねます。

## ◉録画の制限について

特定のデジタル放送などには録画を制限するコピー制御信号が含まれています。**コピー制御信号には次の3種類があり、信号の種類により、録画できない場合があります。**

| コピー制御信号の種類 | 内容 |
|---|---|
| 制限なしに録画可能 | 制限なし（個人利用に限ります） |
| 1回だけ録画可能 | ◆ HDD<br>◆ 「CPRM対応」のDVD-RW Ver.1.1、Ver.1.2<br>「CPRM対応」のDVD-R Ver. 2.0<br>（VRモードのみ） |
| 録画禁止 | 録画不可（著作権保護のため） |

- ◆ 本機でDVD-RW、DVD-Rにデジタル放送を録画するには、HDDからのダビングのみ可能です。（CPRM対応のディスクのみ）

### 「CPRM」(Content Protection for Recordable Media)とは？

「1回だけ録画可能」の放送番組の録画に対してスクランブル処理をするコピー防止システムです。本機はCPRMに対応しており、「1回だけ録画可能」の放送番組を録画できますが、それらの録画のコピーは作成できません。録画された番組は、CPRM対応機器で再生できます。

## ◉録画やダビングができない映像について

- ◆ 本機は複製防止機能（コピーガード）を搭載しており、複製を制限する信号が入ったソフトや放送番組は録画やダビングはできません。
（例）
  - DVDビデオ
  - CS放送のペイ・パー・ビューなど
- ◆ 本機の外部入力端子（L1、L2）につないだ機器の映像にコピーガード（録画禁止のコピー制御信号）が含まれている場合、正常に映らない場合があります。
このような機器は、本機を通さず直接テレビに接続してください。
- ◆ 録画中の映像に途中から複製禁止信号が入っている場合、録画が一時停止状態になります。複製禁止信号がなくなると再び録画を開始します。

## ◉本機で使用できないディスク

### 次のディスクは、録画・再生できません

- ◆ 以下の記録フォーマットのディスク

| | | | |
|---|---|---|---|
| • CD-G | • フォトCD | • CD-ROM | • CD-i |
| • VCD | • CD-TEXT | • CD-EXTRA | • SVCD |
| • SACD | • PD | • CDV | • CVD |
| • DVD-ROM | • DVDオーディオ | | |

- ◆ 特殊な形のディスク（ハート形や六角形など）
- ◆ NTSC方式以外（PALなど）で記録されたディスク
- ◆ リージョン番号に「2」または「ALL」が含まれていないディスク
- ◆ 音楽用CDフォーマットとJPEG形式のファイル以外で記録されたCD-RW、CD-R
- ◆ 音楽と静止画（JPEG形式）が混在したCD-RW、CD-R
- ◆ MP3が記録されたディスク
- ◆ デュアルディスク（DVD/CD）
- ◆ +RW、+R、DVD-R2層
（ビデオモードでファイナライズされたディスクの再生のみ可能）
- ◆ BD（ブルーレイディスク）
- ◆ HD DVD

### 次のようなディスクは再生や録画ができないことがあります

- ◆ DVD規格以外のコピーコントロール信号の入ったDVDビデオ
- ◆ 著作権保護を目的としたコピーコントロール信号の入った音楽用CD
- ◆ 無許諾のディスク（海賊版のディスク）
- ◆ 紙やラベル、シールなどが貼られたディスク
- ◆ セロハンテープやレンタルディスクのラベルなどののりがはみ出したり、はがしたあとのあるディスク
- ◆ 記録領域が少ないディスク（直径55mm以下）
- ◆ 汚れや傷のあるディスク

### 次のような原因で再生できないことがあります

- ◆ 本機のピックアップレンズに汚れがあるとき
- ◆ パソコンを使ってディスクを録画したとき
（詳しくはソフトウェアの製造元にご確認ください。）
- ◆ ディスクの記録状態/ディスク自体の状態
- ◆ 記録に使用したレコーダーの種類
- ◆ 8cmアダプターの使用

## ◉推奨ディスクについて

本機の性能を十分に発揮するため、次のメーカー製ディスクの使用をおすすめします。

- **DVD-R　4×、8×、16×　maxell**
- **DVD-RW　4×　maxell**
- **DVD-R　8×　太陽誘電**
- **DVD-RW　2×、4×　三菱化学**
- **DVD-RW　2×　TDK**
- **DVD-RW　1×、2×、4×　JVC**
- **DVD-RW　2×　OPTIDISC**
  - 上記推奨メーカー製のディスクであっても、動作を保証するものではありません。また、本機の動作は上限4倍速となります。
  - デジタル放送などの「1回だけ録画可能」の番組を録画するときは、CPRM対応のDVD-RW、DVD-Rディスクを使用してください。

## ◉録画できるディスクの種類

本機ではDVD-RWとDVD-Rに録画できます。
ビデオ機器用（「DVD-VIDEO」、「for VIDEO」、「for General」、「録画用」などと表記されている）ディスクをお使いください。
ご不明な点がございましたら、各ディスクメーカーにお問い合わせください。

### DVD-RW

- ディスクをお買い上げ時、記録フォーマット（VRモード、ビデオモード）は設定されていません。ディスクを初めて使用するときに、記録フォーマットを選択して使用します。あとで、記録フォーマットを変更することもできます。
- 本機で録画できるディスクにはVer.1.1、Ver.1.1（CPRM）、Ver.1.2（CPRM）があります（高速記録6倍速ディスクまで対応）。

### DVD-R

- ディスクをお買い上げ時、記録フォーマットはビデオモードに設定されています。ディスクが未使用の場合のみ、記録フォーマットをVRモードに変更できます。一度VRモードに変更したディスクは、記録フォーマットを変更することができません。
- ディスクがいっぱいになるまで本機で追加録画/編集ができます。（ただし、消去をしても空き容量は増えません。）
- 録画後にファイナライズすると、ほかのDVDプレーヤーで再生できるようになります。（ただし、ファイナライズ後は録画や消去などはできません。）
- 本機はVer.2.0、Ver.2.0（CPRM対応）（高速記録16倍速ディスクまで対応）のディスクに録画できます。

## ◉記録フォーマットについて

DVD-RW、DVD-Rディスクに録画するときは、「ビデオモード」か「VRモード」のどちらかの記録フォーマットを選択できます。

### VRモード

**DVD-RW、DVD-Rの基本的な記録フォーマットで、本機のいろいろな編集機能が楽しめます。**

- DVD-RWのディスクでは、**繰り返し録画・消去ができます。消去することで、録画できる時間も増えます。**また、ファイナライズをしたあとでも、追加録画や消去・編集ができます。
- DVD-Rのディスクでは、**ディスクに空きがある限り追加録画ができます。消去しても、録画できる時間は増えません。**また、ファイナライズをしたあとの、追加録画や消去・編集はできません。
- 「1回だけ録画可能」の番組を録画できます。（CPRM対応ディスクのみ可能）
- 録画したディスクはDVD-RW、DVD-R（VRモード）対応DVDプレーヤー/レコーダーでのみ再生ができます。（ファイナライズが必要な場合があります。）
- VRモードで録画されたDVD-RWが再生できるDVDプレーヤー/レコーダーには、RW COMPATIBLE の表示がついています。（「1回だけ録画可能」の番組を録画したディスクは、CPRM対応機器で再生が可能です。）

### ビデオモード

**市販のDVDプレーヤーやDVD-ROMドライブと互換性のある記録フォーマットです。**

- DVD-RWのディスクでは、**ファイナライズをするまでは本機での再生、追加録画、編集ができます。**（編集機能は制限されます。）また、**最後に録画したタイトルを消去した場合のみ、録画できる時間が増えます。**
- DVD-Rのディスクでは、**ディスクに空きがある限り追加録画ができます。消去しても、録画できる時間は増えません。**また、ファイナライズをしたあとの、追加録画や消去・編集はできません。
- ファイナライズ後は、ほかのDVDプレーヤーで再生できます。（すべてのDVDプレーヤーでの再生を保証するものではありません。）
- 「1回だけ録画可能」の番組は録画できません。
- 二カ国語放送を録画するときは、主音声/副音声のいずれか選択した音声のみの記録となります。
- DVD-RW、DVD-Rへのビデオモードによる録画は、2000年にDVDフォーラムで承認された新しい規格であり、この規格への対応はDVD再生機メーカー各社の任意です。そのため、DVDプレーヤーやDVD-ROMドライブによっては再生できないことがあります。

**Point**

- 本機が対応していない記録フォーマットのディスクは再生しないでください。誤って再生すると、大音量によってお使いのスピーカーを破損する原因となることがあります。

## DVDビデオの機能/操作制限

- DVDビデオは、制作者の意図により操作や機能が本書の説明と異なったり、一部の操作を禁止している場合があります。
- テレビ画面に赤色の 🛇 が表示された場合、ディスク側、または本機で操作を禁止しています。ディスクの説明書もあわせてご覧ください。
- メニュー画面や操作内容が表示されたときは、表示の内容にしたがって操作してください。

## 番組の最大録画可能数とチャプター登録数

DVD -RW VRモード　DVD -R VRモード

| | |
|---|---|
| オリジナルタイトル/プレイリスト | 各99 |
| オリジナルタイトル/プレイリストのチャプター | 各999 |

HDD

| | |
|---|---|
| オリジナルタイトル/プレイリスト | 各600 |
| オリジナルタイトル/プレイリストのチャプター | 1タイトル内で99 |

DVD -RW ビデオモード　DVD -R ビデオモード

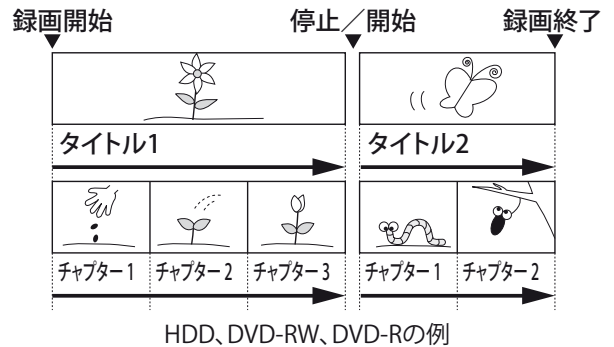
| | |
|---|---|
| タイトル | 99 |
| チャプター | 1タイトル内で99 |

- 上限を超える場合は、メッセージが表示されます。
- 上限まで録画されているメディアに対しては、ワンタッチタイマー録画やダビングの設定は可能ですが、録画開始時にメッセージが表示されます。
- 番組の録画可能数や、チャプター登録数は、HDDの劣化やDVDディスクの傷や汚れ、停電などにより、上記の数値より少なくなることがあります。

# ◉ディスクの構成について

## HDD、DVD-RW、DVD-R、DVDビデオの場合

- **HDD、DVD-RW、DVD-Rに録画した場合は、**1回の録画が1タイトルとなり、自動で設定した時間ごとにチャプターが区切られます。
- **DVDビデオの映画などでは、**ふつう1つの映画が1つのタイトルとなり、複数のチャプターで構成されています。

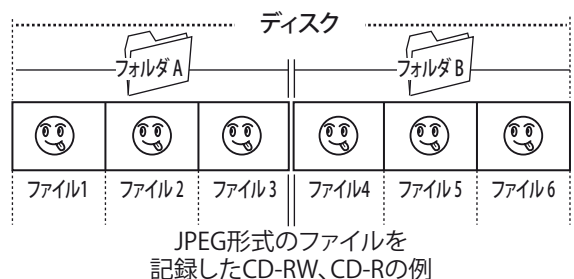
HDD、DVD-RW、DVD-Rの例

## 音楽用CDの場合

**音楽用CDでは、**ディスクをトラックという単位で分けています。（一般的には、1曲が1つのトラックに対応しています。またさらに、トラックがインデックスという単位で分けられている場合もあります。）本機はインデックスの表示、サーチには対応していません。

音楽用CDの例

## JPEG形式のファイルが記録されたCD-RW、CD-Rの場合

**CD-RWやCD-Rに記録されているJPEG形式のデータは、**「フォルダ」という大きな区切りと、「ファイル」という小さな区切りで構成されます。パソコンなどでJPEG形式のファイルを作成する際、ファイルは階層（フォルダ）に分けて記録させることができます。

JPEG形式のファイルを
記録したCD-RW、CD-Rの例

# ◉録画モード別の画質と録画時間について

**デジタル放送のHD放送をハイビジョン画質のまま録画予約するときは、TSモードにしてHDDに録画してください。**
**デジタル放送のHD放送を、XP、SP、LP、EPモードでHDDに録画する場合やDVD-RW、DVD-Rにダビングする場合は、標準画質になります。**

## 録画と録画予約で使える録画モード

○:できる　×:できない

| 録画モード | 画質・音質 | デジタル放送の録画 | 地上アナログ放送の録画 | 外部入力からの録画 | およその録画時間(目安) HDD | | DVD-RW / DVD-R | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | DV-DH250VH | DV-DH500VH | | |
| TS | 高画質・高音質 | ○ | × | × | 30時間 | 61時間 | — | 地上デジタル放送のHD放送の場合(ハイビジョン画質)(17Mbps基準) |
| | | | | | 20時間 | 43時間 | — | BS・110度CSデジタル放送のHD放送の場合(ハイビジョン画質)(24Mbps基準) |
| XP | | ○ | ○ | ○ | 52時間 | 106時間 | 1時間 | — |
| SP | | ○ | ○ | ○ | 104時間 | 212時間 | 2時間 | — |
| LP | | ○ | ○ | ○ | 208時間 | 425時間 | 4時間 | — |
| EP | | ○ | ○ | ○ | 312時間 | 638時間 | 6時間 | — |
| SLP | 低画質・低音質 | × | ○ | ○ | 417時間 | 850時間 | 8時間 | SLPモードで録画した場合、他機では再生できない場合があります。 |

## 録画予約、ダビング(HDD→DVD)で使える録画モード(ジャストレコーディング用)

(参照 154ページ)

○:できる　×:できない

| 録画モード | 画質 | デジタル放送の録画 | 地上アナログ放送の録画 | 外部入力からの録画 | 録画先/録画予約先で選べるディスク | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 自動 | 自動(高～低) | × | ○ | ○ | DVD-RW DVD-R | 画質は、録画開始時のDVD-RW、DVD-Rの残量と録画時間から、最後まで録画できるもっとも高画質の録画モード(XP～SLP)で録画されます。 |

- DVD-RW、DVD-Rは、片面1層の4.7GBのディスクを使用したときの録画時間の目安です。
- 録画する映像によって録画容量が異なるため、実際に録画できる時間とは異なることがあります。
- 本機は、効率よく録画を行うために可変ビットレート方式で録画を行っており、映像によって録画できる時間が変わります。
- 録画モードSLPは、本機で録画・再生するためのモードです。他機では再生できないことがあります。
- 本機の1番組あたりの連続録画可能時間について
  - HDD ································最大約12時間まで(連続録画可能時間を超えると、録画が自動的に停止します。)
  - DVD-RW VRモード　DVD-R VRモード　DVD-RW ビデオモード　DVD-R ビデオモード ····連続録画時間に制限なく、ディスクの残量がなくなるまで録画されます。

## TSモードについて

TSモードはデジタル放送をハイビジョン画質のままHDDに録画できますが、録画後に利用できる機能が下記表のように制限されます。
使いたい機能によって、録画予約時の録画モードをお選びください。

○:できる　×:できない

| 録画モード | 高速ダビング | 追いかけ再生 | プレイリスト作成・再生 | 可変スキップ 可変リプレイ |
|---|---|---|---|---|
| TS | × | ○ | × | ○ |

## ◉二カ国語（二重音声）放送を録画するときの音声について

**録画モードや【セットアップ】画面（参照 171ページ）の【録画設定】ー【二カ国語音声】、【外部入力音声】の設定によって、記録される音声が異なります。録画前に、設定を確認してから録画してください。**

□はお買い上げ時の設定です。

### デジタル放送の二重音声放送およびデジタル放送のマルチ音声放送

| 録画先 | 録画モード | 【二カ国語音声】の設定 | 記録される二重音声 | 再生時の音声 |
|---|---|---|---|---|
| HDD | TS | 設定にかかわらず | 主音声と副音声の両方※1 | 選べます |
| HDD | XP<br>SP<br>LP<br>EP | 主音声 | 主音声のみ※2 | 選べません |
| | | 副音声 | 副音声のみ※2 | 選べません |

### 地上アナログ放送の二重音声放送

| 録画先 | 録画モード | 【二カ国語音声】の設定 | 記録される二重音声 | 再生時の音声 |
|---|---|---|---|---|
| HDD、DVD-RW VRモード、DVD-R VRモード | 録画モードにかかわらず | 設定にかかわらず | 主音声と副音声の両方※3 | 選べます |
| DVD-RW ビデオモード、DVD-R ビデオモード | 録画モードにかかわらず | 主音声 | 主音声のみ | 選べません |
| | | 副音声 | 副音声のみ | 選べません |

### 外部入力からの二重音声放送

| 録画先 | 録画モード | 【外部入力音声】の設定 | 【二カ国語音声】の設定 | 記録される二重音声 | 再生時の音声 |
|---|---|---|---|---|---|
| HDD、DVD-RW VRモード、DVD-R VRモード | 録画モードにかかわらず | 【二カ国語】に切り換える※4 | 設定にかかわらず | 主音声と副音声の両方※3 | 選べます |
| DVD-RW ビデオモード、DVD-R ビデオモード | 録画モードにかかわらず | 【二カ国語】に切り換える※4 | 主音声 | 主音声のみ | 選べません |
| | | | 副音声 | 副音声のみ | 選べません |

※1　デジタル放送のマルチ音声放送をTSモードで録画する場合は、複数の音声がすべて記録されます。
※2　デジタル放送のマルチ音声放送をXP、SP、LP、EPモードで録画する場合は･･･
- 現在放送中の番組を録画するときは、視聴中の音声が記録されます。
- 本機の電源「切」状態から予約録画を実行するときは、放送波からの初期設定音声が記録されます。
- 本機の電源「入」状態から予約録画を実行するときは、録画開始の直前に選ばれていた音声が記録されます。

※3　【セットアップ】画面の【録画設定】ー【録画音声（XP）】を【PCM】に設定してXPモードで録画する場合は、主音声/副音声の一方のみが記録されます。この場合、再生時の音声は選べません。
※4　必ず【外部入力音声】を【二カ国語】に設定したあと、【二カ国語音声】でお好みの音声を選んでください。
【外部入力音声】を【ステレオ】にすると、再生時に主音声と副音声が重なって再生されます。

**デジタル放送の二重音声放送やマルチ音声放送をTSモードで録画した番組を、VRモードのDVD-RW、DVD-Rへダビングするときは（CPRM対応ディスクにのみダビング可能）･･･**

◆ ワンタッチダビングで等速ダビングするときは、ダビング再生中の音声が記録されます。
◆ 【ダビングリスト】画面から等速ダビングするときは･･･
- 二重音声放送の場合は、【二カ国語】で選ばれている音声（主音声か副音声のいずれかの一方）のみがダビングされます。
- マルチ音声放送の場合は、放送波からの初期設定音声が記録されます。
- ダビング時の音声については、「ダビングによる音声について」（参照 143ページ）をご覧ください。

**ビデオテープに録画した二重音声放送をHDDやDVDにダビングするときは**

◆ 上の「外部入力からの二重音声放送」の場合で設定されている音声が記録されます。

## ◉どのディスクに録画すれば良いか迷ったときは（おすすめのディスク）

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 録画 | ◆ とりあえず録画しておきたい<br>◆ 一度見たあとは消しても良い番組を録画したい<br>◆ 長時間の番組を録画したい | | HDD | | |
| デジタル放送 | ◆ デジタル放送を直接録画したい | ※1 | HDD | | |
| | ◆ デジタル放送の「1回だけ録画可能」番組をダビングしたい | ※2、3 | | DVD-RW VRモード | DVD-R VRモード |
| 地上アナログ放送 | ◆ 地上アナログ放送を録画したい | | HDD | DVD-RW | DVD-R |
| 外部入力 | ◆ ほかの機器から録画したい | ※4 | HDD | DVD-RW | DVD-R |
| 録画回数 | ◆ 繰り返し録画/消去したい | | HDD | DVD-RW | |
| | ◆ 一度録画したら、消去できないようにしたい | | | | DVD-R |
| 編集 | ◆ プレイリストを作成したい<br>◆ チャプターマークを手動で追加/消去したい | | HDD | DVD-RW VRモード | DVD-R VRモード |
| 他機での再生 | ◆ ほかのDVDプレーヤーなどで再生したい（ファイナライズが必要です） | ※5 | | DVD-RW | DVD-R |

**※1　デジタル放送は、HDDにのみ直接録画できます。（DVD-RW、DVD-Rには、直接は録画できません。）**
**※2　CPRM対応のDVD-RW(VRモード)、DVD-R(VRモード)にのみダビングできます。この場合、ダビング方法は「ムーブ」（移動）となり、ダビング後はダビング元の番組は残りません（消去されます）。**
**※3　HDDに録画したデジタル放送のHD放送を、ハイビジョン画質のままDVD-RW、DVD-Rにダビングできません。標準画質でダビングされます。**
**※4　ケーブルテレビ（CATV）や「ｅ２ ｂｙ スカパー！」などの「1回だけ録画可能」「録画禁止」番組の録画やダビングについては、デジタル放送の「1回だけ録画可能」「録画禁止」番組の場合と同様となります。**
**※5　DVD-RW(VRモード)に録画したディスクは、RW COMPATIBLE 表示の付いたVRモード対応のDVDプレーヤー/レコーダーでのみ再生できます。DVD-R(VRモード)に録画したディスクは、DVD-RのVRモードに対応したDVDプレーヤー/レコーダーでのみ再生できます。**

- ◆ 地上アナログ放送はHDD、DVD、ビデオテープのいずれにも直接録画可能です。
- ◆ ビデオテープには、地上アナログ放送と外部入力でのみ直接録画できます。（デジタル放送の録画や、録画予約はできません。）

## ◉録画（録音）内容について

### 録画（録音）の前に

- ◆ 特に大切な録画（録音）のときは、事前に録画（録音）をして、正常に録画（録音）されていることを確認しておいてください。
- ◆ 本機に故障や異常が発生すると、HDDに録画（録音）された内容が失われることがあります。
  大切な録画（録音）内容は、DVD-RW、DVD-Rやビデオテープに保存しておくことをおすすめします。

### 録画（録音）内容の補償について

- ◆ 万一、何らかの不具合や停電・結露などによって、録画（録音）や編集が正常に行われなかったり、再生できなくなった場合の内容の補償、データの損失、およびこれらに関するそのほかの直接・間接の損害については、当社は責任を負いません。あらかじめご了承ください。
  （例）
  - 本機で録画したディスクを、他社のDVDレコーダーやパソコンのDVDドライブで動作させる。
  - 上記の動作を行ったディスクを、再び本機で動作させる。
  - 他社のDVDレコーダーやパソコンのDVDドライブで録画したディスクを、本機で動作させる。
  - HDDの故障または異常による、録画（録音）内容の損失。
- ◆ 本機を修理した場合（HDD以外の修理を行った場合でも）、HDDの録画（録音）内容が失われることがあります。その場合の内容の補償、データの損失、およびこれらに関するそのほかの直接・間接の損害については、当社は責任を負いません。あらかじめご了承ください。

## 市販/レンタルビデオテープ（ディスク）のダビングについて

- 万一本機およびビデオテープ・ディスク等の不具合により正常に録画されなかったり、再生できなくなった場合、その内容の補償についてはいたしかねます。
- 市販のビデオテープやレンタルビデオテープをダビングされた場合、正常に録画できなかったり（画像が乱れる、定期的に暗くなったり明るくなったりする）、テレビの映像が正常に映らない場合があります。これは著作権者保護の目的で、コピーガード機能が働いているために起こる現象です。本機の故障ではありません。
- あなたがテレビ放送や音楽用CD、録画物などから録画（録音）したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

## デジタル放送の録画制限について

デジタル放送の場合、番組によっては著作権保護のため録画が禁止・制限されていることがあります。

○：録画できる　△：ダビングのみできる　×：録画できない

| 番組の録画制限 | HDD | DVD -RW VRモード / DVD -R VRモード | DVD -RW ビデオモード / DVD -R ビデオモード |
|---|---|---|---|
| 制限なしに録画可能 | ○ | △ | △ |
| 1回だけ録画可能 | ○ | △※1 | × |
| 録画禁止 | × | × | × |

※1　CPRM対応のディスクにダビングのみできます。この場合、ダビング方法は「ムーブ（移動）」となり、ダビング後はダビング元の番組は残りません（消去されます）。

- 「制限なしの録画可能」番組と「1回だけ録画可能」番組を続けて録画すると、録画制限のない番組も「1回だけ録画可能」番組として扱われます。この場合は、オリジナル編集（参照 120ページ）を行っても、「1回だけ録画可能」番組として扱われます。
- 録画中に次の番組になったときは、録画を一時停止します。（ただし、本体表示部は録画状態の表示のままです。）
  - 「録画禁止」番組になったとき。
  - 視聴年齢制限のある番組になったとき。
  - 有料番組に切り換わったとき。
  - 降雨対応放送に切り換わったとき。

  録画が可能な状態になると、再び録画を始めます。

## ◉ デジタル放送と地上アナログ放送を同時に録画するときは（デジタル/アナログ2番組同時録画）

同時録画の可否一覧表

| 2番組同時録画が可能な組み合わせ | | |
|---|---|---|
| デジタル放送 | | アナログ放送 |
| HDD（TS） | ＋ | HDD（XP、SP、LP、EP、SLP） / DVD -RW / DVD -R / テープ |

| 同一のチャンネルであれば同時録画が可能な組み合わせ | | |
|---|---|---|
| アナログ放送 | | アナログ放送 |
| HDD（XP、SP、LP、EP、SLP） | ＋ | テープ |
| DVD -RW / DVD -R | ＋ | テープ |

- デジタル放送の2番組同時録画や、地上アナログ放送の2番組同時録画はできません。
- デジタル放送をTSモード以外で録画するときは、2番組同時録画はできません。

この商品の価格には、「私的録画補償金」が含まれております。
補償金は、著作権法で権利保護のため権利者に支払われることが定められています。

**私的補償金の問い合わせ先：**

社団法人 私的録画補償金管理協会
〒107- 0052 東京都港区赤坂5-4-6 赤坂三辻ビル 2F
**TEL** 03-3560-3107（代）　**FAX** 03-5570-2560
**ホームページアドレス**　http://www.sarvh.or.jp

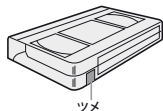
なお、あなたが本機で録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。

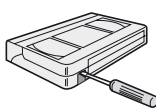
はじめに
準備 接続
準備 初期設定
テレビ放送を楽しむ
録画する
再生する
ビデオを楽しむ
編集する
ダビングする
便利な機能
設定を変更する
困ったときは
その他

# ◉ビデオテープについて

本機ビデオデッキは、VHS 方式のビデオテープです。VHS マークの付いたビデオテープ以外は使用できません。

## 大切な録画テープを誤って消さないように…

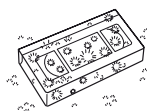
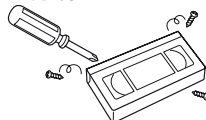
**誤消去防止用のツメ**

- ビデオテープには誤消去防止用のツメがついています。

**誤って消さないために…**

- ドライバーなどでツメを折ります。（ツメが折れているビデオテープは録画できません。）

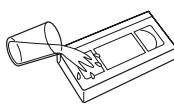
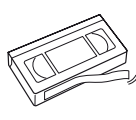
**ふたたび録画したいとき…**

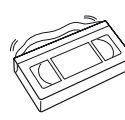
- セロハンテープを二重に貼り、めくれないようにしてください。

## このようなテープは使わないでください

ヘッドの目詰まり、汚れ、テープからみなど、故障の原因となります。

**カビが生えたテープ**

**粘着物、ジュースなどが付いたテープ**

**つないだテープ**

**分解したテープ**

**ラベルがはがれかかったテープ**

**テープがたるんでいるテープ**

## ビデオテープの保管は…

- 次のような場所に保管された場合、ビデオテープを傷める場合があります。
  - 湿気やほこりの多いところ、カビの発生しやすいところ
  - 直射日光が当たるところやストーブの近く
  - 磁気の発生するところ
- 落としたり衝撃を与えないでください。
- ケースに入れて保管してください。

## 録画時間について…

標準　：画質優先の場合に使用するモードです。
ビデオテープに表示されている時間を録画できます。

3倍　：長時間録画の場合に使用するモードです。
ビデオテープに表示されている時間の3倍の時間を録画できます。

| テープの種類 | 標準 | 3倍 |
|---|---|---|
| T-60 | 60分 | 180分 |
| T-120 | 120分 | 360分 |
| T-160 | 160分 | 480分 |
| T-180 | 180分 | 540分 |

## 映像が映らないとき…

- 突然、画像が下記のようになった場合は、ビデオヘッドが汚れていることが考えられますので市販の「クリーニングテープ」（乾式）で、ヘッドクリーニングを定期的に行ってください。
- **ヘッドクリーニングしても効果がない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。**

「ザラザラ」した映像

「ブルー」一色の映像

「ノイズ」が入った映像

## オートヘッドクリーニングおよびビデオヘッドの寿命について

**オートヘッドクリーニング機能について**

ビデオテープを入れたときや、出したときに自動的にビデオヘッドの汚れを取り除きます。上記画像になった場合には、ビデオヘッドのクリーニングが必要です。市販のクリーニングテープ（乾式）でヘッドクリーニングを行ってください。（ただし、取りきれない汚れもあります。）

**ビデオヘッドの点検について**

美しい画面をご覧いただくためには、使用環境（温度/湿度/ほこり）などによって異なりますが、ビデオヘッドはおよそ1000時間を目安に点検（清掃/注油/部品交換）されることをおすすめします。詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

**ビデオヘッドの交換について**

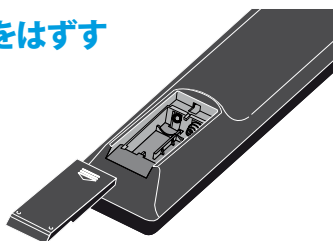
ビデオヘッドは磨耗するため、鮮明な映像が映らなくなることがあります。このような場合は、ヘッドの交換が必要になります。交換費用も含め、お買い上げの販売店にご相談ください。

# 操作の前に

本書は、リモコン操作を主体として、本機の操作を説明しています。
らくリモでのご使用は、別冊「録る」「見る」が簡単 「らくリモ」操作ガイド をご覧ください。

## ◉ リモコン電池の入れかた

### リモコン

**リモコン裏側のフタをはずす**

**乾電池（単4形）を入れる**

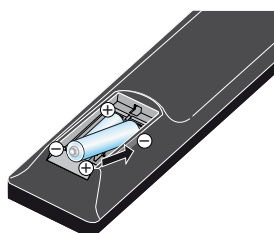
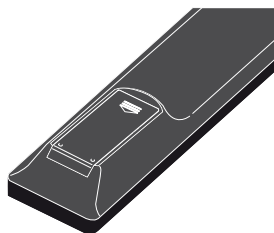
- 付属の単4形乾電池の（＋）（－）を確認して、（－）側に押しながら入れてください。

**3 フタを付ける**

### らくリモ

**リモコン裏側のフタをはずす**

**2 乾電池（単3形）を入れる**

- 付属の単3形乾電池の（＋）（－）を確認して、（－）側に押しながら入れてください。

**フタを付ける**

**Point**

リモコン操作ができる距離が短くなってきたら、乾電池が消耗しています。新しい乾電池に交換してください。
（※付属の乾電池は動作確認用です。）

- 長期間使用しないときは、リモコンから乾電池を取り出してください。
- 本機を直射日光の当たる場所に置かないでください。誤動作する場合があります。
- アルカリ乾電池とマンガン乾電池を一緒に入れないでください。
- 古い乾電池と新しい乾電池を一緒に入れないでください。

「アルカリ乾電池ご使用の注意」
**アルカリ乾電池は、外枠がプラス極になっているために、リモコンのマイナス極バネが乾電池のマイナス極と被覆（外枠の被覆がはがれている場合）に同時に接触した場合、乾電池そのものがショート（短絡）状態になり、ショートした部分が発熱しやけどする危険があります。**
**アルカリ乾電池をご使用になる場合は、被覆がやぶれたり、はがれていないものをご使用ください。**

## ◉ リモコンの操作範囲

リモコン受光部に向けて操作してください。
（リモコン、らくリモ共通）

**受信許容範囲**

**距離**
本機正面より7m以内

**角度**
本機正面より
左右約30度以内5m以内
上約15度以内5m以内
下約30度以内3m以内

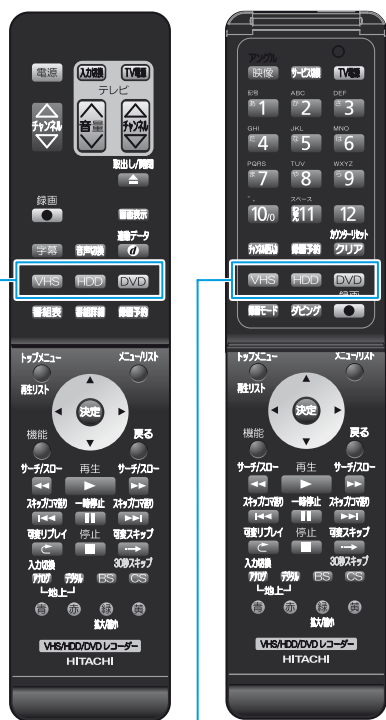
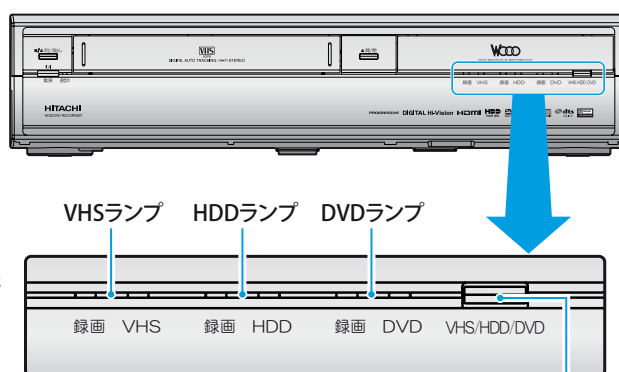
**Point**

- 本機の近くに、当社製のほかのDVDレコーダーがある場合、本機のリモコンを操作したときに、そのレコーダーが同時に動作する場合があります。本体とリモコンを、それぞれのリモコンコードに変更することで、2台のレコーダー本体が同時に動かないように設定できます。
詳しくは「お持ちの当社製DVDレコーダー2台が同時に動作する場合は」（参照 29ページ）をご覧ください。

## ◉HDD/DVD/VHSの操作切換について

本機はビデオデッキとHDD/DVDレコーダーの一体型です。
操作時はHDD、DVD、VHSを切り換える必要があります。
リモコンで本機の操作を行うときは、電源を入れてからリモコンの VHS 、HDD または、DVD を押し、本体の操作モードを切り換えてからお好みの操作を行ってください。

＜リモコン側の操作切換ボタン＞

＜本体前面の操作切換ボタン＞

VHS/HDD/DVD操作切換ボタン
※押すたびに操作先を
→ VHS → HDD → DVD
の順に切り換えます。

### VHS操作時

- リモコンの VHS を押します。
  本体のVHSランプが点灯したことを確認します。

### HDD操作時

- リモコンの HDD を押します。
  本体のHDDランプが点灯したことを確認します。

### DVD操作時

- リモコンの DVD を押します。
  本体のDVDランプが点灯したことを確認します。

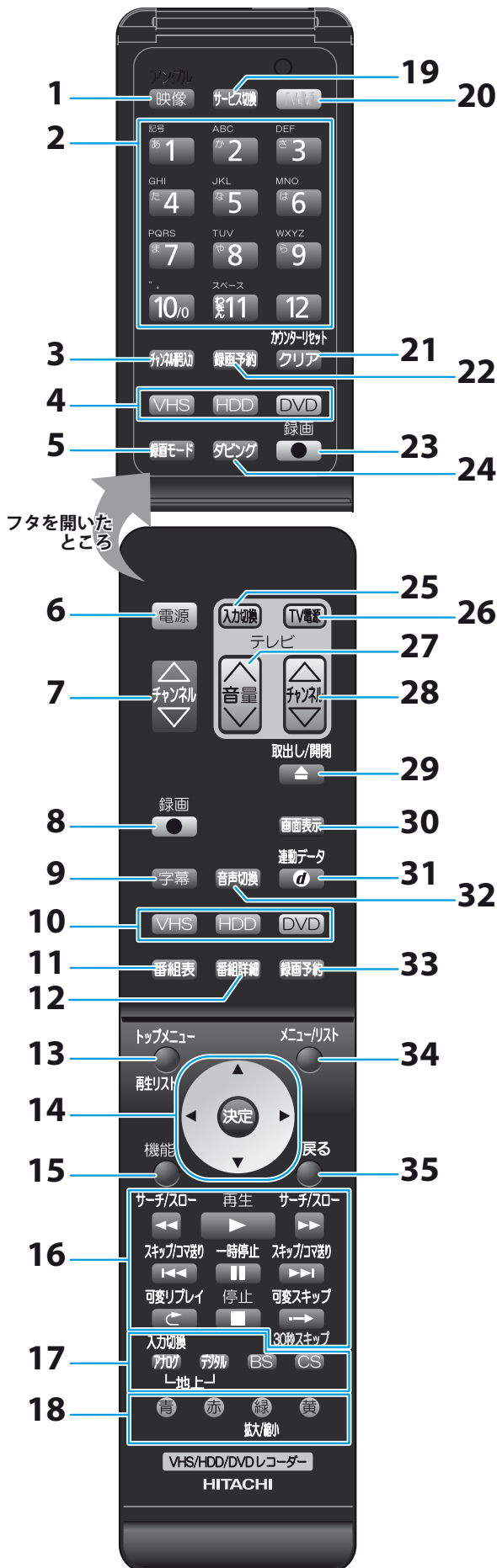
**Point**

- デジタル放送を視聴時、VHS操作モードに切り換えると、アナログ放送に切り換わります

## ◉禁止アイコンについて

- テレビ画面に赤色の ⃠ が表示された場合は、本機またはディスクがDVDまたはHDDの操作を禁止しています。
- テレビ画面に白色の ⃠ が表示された場合は、本機がビデオの操作を禁止しています。

# 各部のなまえ

## ◉ リモコン

**1. 映像/アングルボタン**（参照 77、109ページ）
映像やアングル切換を行うときに使用します。(HDD/DVD)

**2. 数字ボタン**（参照 72ページ）
チャンネル選択や数字、文字入力をします。

**3. チャンネル番号入力ボタン**（参照 72ページ）
【チャンネル番号入力】画面を表示します。

**4. VHSボタン/HDDボタン/DVDボタン**（参照 25ページ）
操作先(VHS)(HDD)(DVD)を切り換えます。

**5. 録画モードボタン**（参照 82ページ）
録画するときの録画モードを切り換えます。

**6. 電源ボタン**（参照 43ページ）
本機の電源の「入」/「切」に使用します。

**7. チャンネルボタン**（参照 72ページ）
チャンネルを変えます。

**8. 録画ボタン**（参照 82、113ページ）
録画するときに使用します。

**9. 字幕ボタン**（参照 77、108ページ）
視聴中や再生中に字幕を切り換えます。(HDD/DVD)

**10. VHSボタン/HDDボタン/DVDボタン**（参照 25ページ）
操作先(VHS)(HDD)(DVD)を切り換えます。

**11. 番組表ボタン**（参照 74ページ）
デジタル放送を視聴時に番組表（EPG）を表示します。（HDD/DVD）

**12. 番組詳細ボタン**（参照 76ページ）
デジタル放送を視聴しているときや、番組表（EPG）で選択中の番組の詳細を表示します。(HDD/DVD)

**13. トップメニュー/再生リストボタン**（参照 99、100ページ）
録画した番組の一覧や、DVDのトップメニューを表示します。（HDD/DVD）

**14. ▲/▼/◀/▶/決定ボタン**（参照 44ページ）
項目の選択や決定/実行をします。

**15. 機能ボタン**（参照 47ページ）
【機能一覧】画面を表示します。

**16. サーチ/スローボタン**（参照 101、117ページ）
**再生ボタン**（参照 99、116ページ）
**スキップ/コマ送りボタン**（参照 101、102ページ）
**一時停止ボタン**（参照 101、117ページ）
**可変リプレイボタン**（参照 102ページ）
**停止ボタン**（参照 99、116ページ）
**可変スキップ/30秒スキップボタン**（参照 102、118ページ）

**17. 入力切換/放送切換ボタン**（参照 72ページ）
受信する放送や外部入力を切り換えます。

**18. 青ボタン/赤ボタン/緑（拡大/縮小）ボタン/黄ボタン**（参照 73ページ）
番組表（EPG）やデータ放送などの表示中に画面の指示にしたがって使用します。

**19. サービス切換ボタン**（参照 78ページ）
デジタル放送のラジオ放送やデータ放送を切り換えます。

**20. TV電源ボタン**（参照 27ページ）
テレビの電源「入」/「切」に使用します。

**21. クリア/カウンターリセットボタン**（参照 119、129ページ）
入力された文字やテープカウンターをリセットするときに使用します。

**22. 録画予約ボタン**（参照 89ページ）
録画予約するときに使用します。(HDD/DVD)

**23. 録画ボタン**（参照 82、113ページ）
録画するときに使用します。

**24. ダビングボタン**（参照 145ページ）
ダビングをするときに使用します。

**25. テレビ入力切換ボタン**（参照 27ページ）
テレビの入力を切り換えます。

**26. TV電源ボタン**（参照 27ページ）
テレビの電源「入」/「切」に使用します。

**27. テレビ音量ボタン**（参照 27ページ）
テレビの音量を調整するのに使用します。

**28. テレビチャンネルボタン**（参照 27ページ）
テレビのチャンネルを変えます。

**29. 取出し/開閉ボタン**（参照 81、116ページ）
ディスクトレイの開閉をします。(DVD)
ビデオテープの取り出しに使用します。(VHS)

**30. 画面表示ボタン**（参照 102ページ）
停止中にはディスク残量を、録画/再生中には
番組やディスクの情報、再生メニュー画面を表示します。

**31. 連動データボタン**（参照 78ページ）
デジタル放送に連動したデータ放送を表示します。

**32. 音声切換ボタン**（参照 77、108ページ）
視聴中や再生中に音声を切り換えます。

**33. 録画予約ボタン**（参照 89ページ）(HDD/DVD)
録画予約するときに使用します。

**34. メニュー/リストボタン**（参照 99、100ページ）
DVDメニューを表示します。(DVD)
再生リスト(オリジナル/プレイリスト)を切り換えます。(HDD/DVD)
（DVDのVRモードのみ再生リストの切換が可能です。）

**35. 戻るボタン**（参照 87ページ）
各種の設定画面などで一つ前の画面に戻ります。

**お買い上げ時の設定は「日立」になっていますので、ほとんどの当社テレビは設定不要です。**

## ◉本機のリモコンにお使いのテレビメーカーを設定する

下表の国内メーカーを設定できます。
リモコン、らくリモともに、それぞれ設定してください。（参照 28ページ）

- リモコンごとにテレビメーカーを変えて設定することもできます。
（例：リモコンは「日立」、らくリモは「松下」に設定する）

### 1 リモコンをテレビのリモコン受光部に向ける

### 2 TV電源を押しながら、下記表を参考にボタンを押す

| メーカー | ボタン |
|---|---|
| 日立 | ゛。10/0 を押してから 記号 あ 1 を押す |
| 松下 | ゛。10/0 を押してから ABC か 2 を押す |
| 松下 | 記号 あ 1 を押してから DEF さ 3 を押す |
| 松下 | 記号 あ 1 を押してから GHI た 4 を押す |
| 松下 | 記号 あ 1 を押してから JKL な 5 を押す |

| メーカー | ボタン |
|---|---|
| ビクター | ゛。10/0 を押してから DEF さ 3 を押す |
| ソニー | ゛。10/0 を押してから GHI た 4 を押す |
| 東芝 | ゛。10/0 を押してから JKL な 5 を押す |
| 三菱 | ゛。10/0 を押してから MNO は 6 を押す |
| 三洋 | ゛。10/0 を押してから PQRS ま 7 を押す |
| 三洋 | ゛。10/0 を押してから TUV や 8 を押す |
| シャープ | ゛。10/0 を押してから WXYZ ら 9 を押す |
| シャープ | 記号 あ 1 を押してから ゛。10/0 を押す |
| 富士通ゼネラル | 記号 あ 1 を押してから 記号 あ 1 を押す |
| NEC | 記号 あ 1 を押してから ABC か 2 を押す |
| パイオニア | 記号 あ 1 を押してから MNO は 6 を押す |
| フナイ | 記号 あ 1 を押してから PQRS ま 7 を押す |

テレビの電源が「入」/「切」できれば、設定は終わりです。

- メーカー指定用ボタンが複数あるときはいずれかのボタンで指定してください。そのボタンでテレビの電源が「入」/「切」できないときは、ほかのボタンで設定してください。

**Point**

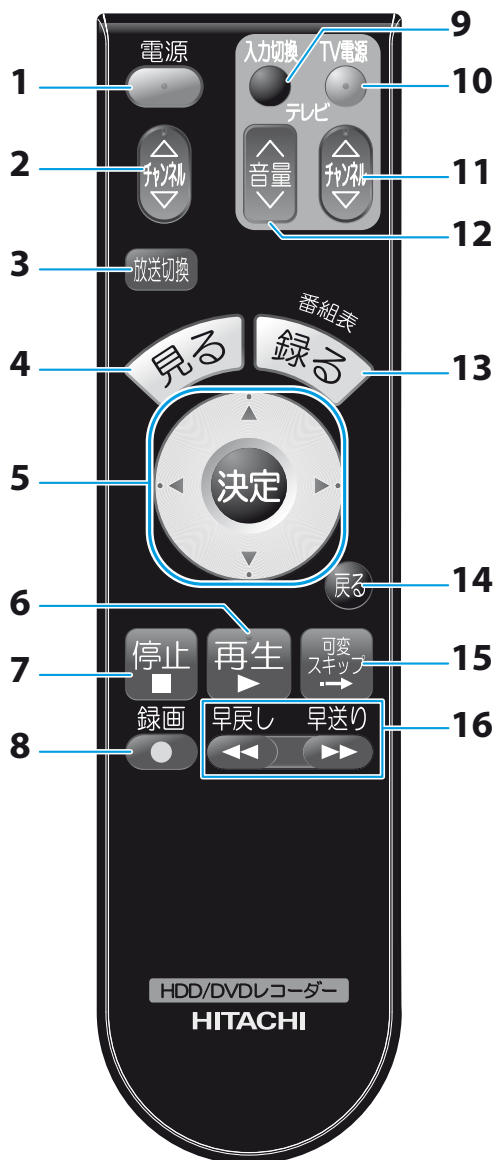
- お使いのテレビ（プラズマテレビ、液晶テレビを含む）の製造年度や形式により、本機のリモコンではメーカー設定や一部の操作が機能しないことがあります。この場合は、テレビに付属のリモコンをお使いください。

## ◉リモコンでテレビを操作するときは

### 1 リモコンをテレビのリモコン受光部に向ける

### 2 テレビ操作用ボタンを押す

TV電源 ・・・・・・・・・・・・テレビの電源を「入」/「切」する
チャンネル ・・・・・・・・・・・・テレビのチャンネルを切り換える
音量 ・・・・・・・・・・・・テレビの音量を調整する
入力切換 ・・・・・・・・・・・・テレビの入力を切り換える

## ◉らくリモ

1. **電源ボタン**
   本機の電源「入」/「切」に使用します。
2. **チャンネルボタン**
   チャンネルを変えます。
3. **放送切換ボタン**
   受信する放送や外部入力を切り換えます。
   (アナログ放送、外部入力[L1、L2]、地上デジタル放送、BSデジタル放送、CSデジタル放送[CS1、CS2]を切り換えます。)
4. **見るボタン**
   録画した番組の一覧や、DVDのトップメニューを表示します。
   (HDD/DVD)
5. **▲/▼/◀/▶/決定ボタン**
   項目の選択や決定/実行をします。
6. **再生ボタン**
   再生するときに使用します。
7. **停止ボタン**
   停止するときに使用します。
8. **録画ボタン**
   録画するときに使用します。
9. **テレビ入力切換ボタン**
   テレビの入力を切り換えます。
10. **TV電源ボタン**
    テレビの電源「入」/「切」に使用します。
11. **テレビチャンネルボタン**
    テレビのチャンネルを変えます。
12. **テレビ音量ボタン**
    テレビの音量を調整するのに使用します。
13. **録るボタン**
    デジタル放送を視聴時に、番組表(EPG)を表示します。
    (HDD/DVD)
14. **戻るボタン**
    各種の設定画面などで一つ前の画面に戻ります。
15. **可変スキップボタン**
    一定時間先の場面まで飛ばすときに使用します。
    (お買い上げ時の設定は30秒)
16. **早戻し/早送りボタン**
    早戻し/早送りするときに使用します。

**お買い上げ時の設定は「日立」になっていますので、ほとんどの当社テレビは設定不要です。**

## ◉本機のらくリモにお使いのテレビメーカーを設定する

下表の国内メーカーを設定できます。
リモコン、らくリモに、それぞれ設定してください。(参照 27ページ)

- リモコンごとにテレビメーカーを変えて設定することもできます。
  (例:リモコンは「日立」、らくリモは「松下」に設定する)

### 1 らくリモをテレビのリモコン受光部に向ける

### 2 TV電源 を押しながら、下記表を参考にボタンを押す

| メーカー | ボタン |
|---|---|
| 日立 | 決定 を1回押す |
| 松下 | 決定 を2回押す |
| | 決定 を13回押す |
| | 決定 を14回押す |
| | 決定 を15回押す |
| ビクター | 決定 を3回押す |
| ソニー | 決定 を4回押す |
| 東芝 | 決定 を5回押す |
| 三菱 | 決定 を6回押す |

| | |
|---|---|
| 三洋 | 決定 を7回押す |
| | 決定 を8回押す |
| シャープ | 決定 を9回押す |
| | 決定 を10回押す |
| 富士通ゼネラル | 決定 を11回押す |
| NEC | 決定 を12回押す |
| パイオニア | 決定 を16回押す |
| フナイ | 決定 を17回押す |

テレビの電源が「入」/「切」できれば、設定は終わりです。

- メーカー指定用ボタンが複数あるときはいずれかのボタンで指定してください。そのボタンでテレビの電源が「入」/「切」できないときは、ほかのボタンで設定してください。

## ◉らくリモでテレビを操作するときは

**1** らくリモをテレビの受光部に向ける

**2** テレビ操作用ボタンを押す

TV電源 ……………テレビの電源を「入」/「切」する

チャンネル ……………テレビのチャンネルを切り換える

音量 ……………テレビの音量を調整する

入力切換 ……………テレビの入力を切り換える

**Point**

- お使いのテレビ（プラズマテレビ、液晶テレビを含む）の製造年度や形式により、本機のらくリモではメーカー設定や一部の操作が機能しないことがあります。この場合は、テレビに付属のリモコンをお使いください。

## ◉お持ちの当社製DVDレコーダー2台が同時に動作する場合は

本機の近くに、当社製のほかのDVDレコーダーがある場合、本機のリモコンを操作したときに、そのレコーダーが同時に動作する場合があります。本体とリモコンを、それぞれのリモコンコードに変更することで、2台のレコーダー本体が同時に動かないように設定できます。本機側とリモコン側のリモコンコードが異なる場合は、リモコンで本体の操作ができなくなります。（参照 30ページ）

### 本機のリモコンコードについて

本体、リモコン、らくリモに、それぞれ別のリモコンコードが設定できます。

- 本体･･････　〈リモコン1〉、〈リモコン2〉、〈リモコン3〉
- リモコン ･･･　〈リモコン1〉、〈リモコン2〉、〈リモコン3〉
- らくリモ ････　〈リモコン1〉、〈リモコン2〉、〈リモコン3〉

お買い上げ時はすべて、〈リモコン1〉に設定されています。

## ◉リモコンのコード設定のしかた

〈リモコン1〉にするときは

**決定 を押しながら サーチ/スロー ◀◀ を押す**

〈リモコン2〉にするときは

**決定 を押しながら 再生 ▶ を押す**

〈リモコン3〉にするときは

**決定 を押しながら サーチ/スロー ▶▶ を押す**

## ◉らくリモのコード設定のしかた

<リモコン1>にするときは

**決定 を押しながら**  **を押す**



<リモコン2>にするときは

**決定 を押しながら**  **を押す**



<リモコン3>にするときは

**決定 を押しながら**  **を押す**



**Point**

- 本機のリモコンで、当社製のほかのDVDレコーダーを操作することもできますが、一部の操作が機能しないことがあります。
- DVDプレーヤーやビデオデッキは、本機のリモコンでは操作できません。

**当社製のDVDレコーダーを2台以上お持ちでない場合、下記設定は必要ありません。**

## ◉本体側のリモコンコードの設定のしかた

**1**
- ●テレビの電源を入れ、テレビ側の入力切換を本機を接続した入力にする
- ● 電源 を押して、本機の電源を入れる

**2** 機能 を押す

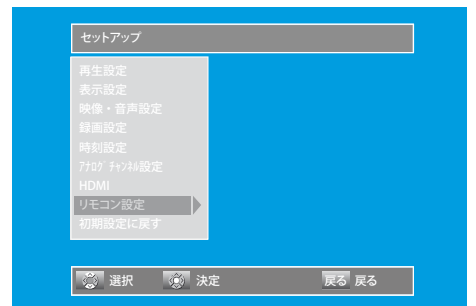
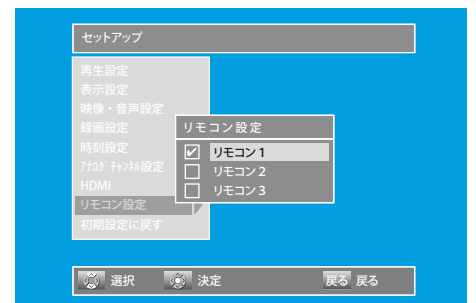
【機能一覧】画面が表示されます。

**3**

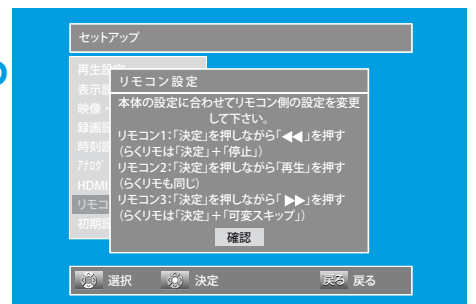
で【セットアップ】を選び、決定 を押す

【セットアップ】画面が表示されます。

**4** ▲ ▼ で【リモコン設定】を選び、決定 を押す

【リモコン設定】画面が表示されます。

**5** ▲ ▼ でリモコンコードを選び、決定 を押す

【確認】画面が表示されます。

**6** 【確認】画面の指示にしたがい、リモコン/らくリモのリモコンコードを本体側のリモコンコードに合わせる

（参照 29ページ）

**7** 決定 を押す

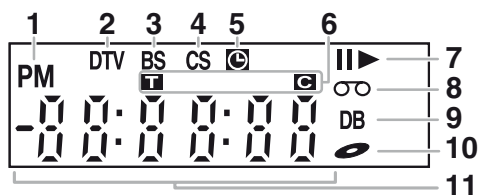
設定が完了すると、手順4の画面に戻ります。

**8** 機能 を押す

通常画面に戻ります。

**Point**

- 本機側とリモコン側のリモコンコードが合っていない場合、リモコンを操作すると本体表示部に「r-1」、「r-2」、「r-3」のいずれかが表示されます。このような場合は、リモコン（またはらくリモ）のリモコンコードを正しく設定してください。（参照 29ページ）ただし、電源が入っていない場合は、本体表示部は表示されません。

## ◉表示部について

**1. PMマーク**
時計表示が午後のときに点灯
（午前のときは何も点灯しません。）

**2. DTVマーク**
チャンネルが地上デジタル放送のときに点灯

**3. BSマーク**
チャンネルがBSデジタル放送のときに点灯

**4. CSマーク**
チャンネルがCS1/CS2デジタル放送のときに点灯

**5. 録画予約タイマー**
録画予約設定後（または予約録画中）のときに点灯

**6. タイトル/トラック/チャプターマーク**
T: タイトル/トラック番号表示中に点灯
C: チャプター番号表示中に点灯

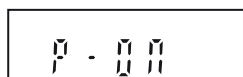
**7. 再生/一時停止マーク**
▶: 再生のときに点灯
❚❚: 一時停止、スロー再生、コマ送り/戻しのときに点灯

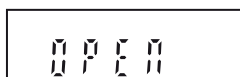
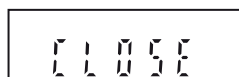
**8. ビデオテープ挿入マーク**
ビデオテープを挿入のときに点灯

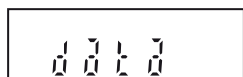
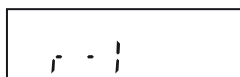
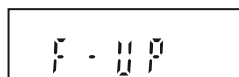
**9. DBマーク**
ダビング実行中に点灯

**10. ディスクマーク**
ディスク挿入のときに点灯

**11. 共通表示部**
・再生時間
・タイトル/チャプター/トラック番号
・録画時間
・時計
・チャンネル表示
・ワンタッチタイマー録画の残り時間
・ビデオテープカウンター

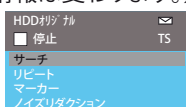
## ◉ディスプレイ表示について

電源を入れると表示します。

電源を切ると表示します。

ディスクトレイが開いているときに表示します。

ディスクトレイが閉じているときに表示します。

LoAd
ディスクを読み込んでいるときに表示します。

デジタル放送の番組表の番組情報や、番組データ取得中に表示します。

本体とリモコンのリモコンコードが合っていないときに表示します。（数字の部分はコードによって「r-1」、「r-2」、「r-3」のいずれかに変わります。）

ソフトウェアの自動更新時に表示します。

## ◉画面表示について（HDD、DVD）

画面表示 を押すたびに操作先のディスク名（HDDまたはDVD）、録画モードや動作状態などが表示されます。（本機の動作状態によって、表示される情報は変わります。）

HDDｵﾘｼﾞﾅﾙ 停止 TS
HDD 残量（デジタル）
[TS] 33h31m (24Mbps)
[XP] 82h30m [SP] 165h00m
[LP] 330h00m [EP] 495h00m

操作先のディスク名（HDDまたはDVD）や状態、【再生メニュー】画面が表示されます。
（参照 102、103、104ページ）

**動作マーク一覧表**

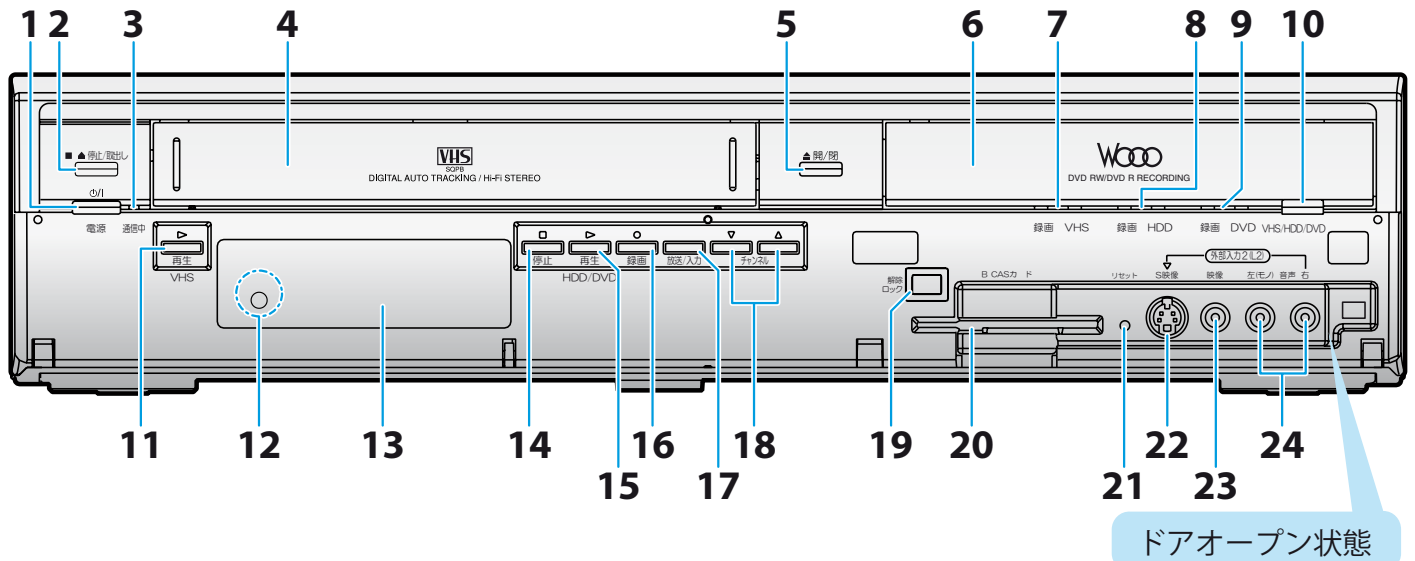
| | |
|---|---|
| ⏏ディスク | ディスクトレイ開 |
| 読み込み中 | DVD/CDの読み込み中 |
| ● 録画中 | 録画 |
| ❚❚● | 録画一時停止 |
| □ | 停止 |
| リジューム入り | 続き再生の停止（リジューム停止） |
| ▷ 再生 | 再生 |
| ❚❚ 一時停止 | 再生一時停止 |
| ▷▸ ～ ▷▸▸▸ | 早送り |
| ▷◂ ～ ▷◂◂◂ | 早戻し |
| ❚▷▸ ～ ❚▷▸▸▸ | スロー再生 |
| ❚▷◂ ～ ❚▷◂◂◂ | 逆スロー再生 |
| ▷▷❚、❚◁◁ | スキップ（正方向、逆方向） |
| ⇨、⊂ | 可変スキップ、可変リプレイ |
| フォーマット中 | DVD-RW、DVD-Rの初期化（フォーマット） |
| ファイナライズ中 | DVD-RW、DVD-Rのファイナライズ |
| HDD→DVD | HDD→DVDダビング |
| DVD→HDD | DVD→HDDダビング |

タイトル番号、ビットレートなどの情報が表示されます。
※ 残量時間はおおよその時間です。目安としてお使いください。
T:タイトルまたはトラック番号
C:チャプター番号
⏲:再生または録画時間
（時間（h）、分（m）、秒（s））

◆ TSモードの場合、ビットレートは表示されません。
◆ 同時録画再生中は・・・
再生中の情報が表示されます。
再び 画面表示 を押すと、録画情報が表示されます。
もう一度 画面表示 を押すと、表示が消えます。
◆ 2番組同時録画中は・・・
デジタル放送の録画情報が表示されます。
再び 画面表示 を押すと、アナログ放送の録画情報が表示されます。

操作先（HDDまたはDVD）の録画可能時間が録画モード別に表示されます。もう一度 画面表示 を押すと、表示が消えます。
※ 残量時間はおおよその時間です。目安としてお使いください。
◆ 再生中、同時録画再生中は表示されません。
◆ 【HDD残量（デジタル）】の場合、【SLP】は表示されません。
◆ 【HDD残量（アナログ）】、【DVD残量（アナログ）】の場合、【TS】は表示されません。

**Point**
◆ 画面表示に ✉ が表示される場合は、お知らせメールがあります。
（参照 157ページ）

## ◉前面

**1.　電源ボタン**
電源の「入」/「切」に使用します。

**2.　停止/取出しボタン(VHS)**（参照 116ページ）
ビデオテープの再生や録画を停止します。停止中に押すと、ビデオテープを取り出します。

**3.　通信中ランプ**
電話回線を使っての通信中に点灯します。

**4.　カセットドア(VHS)**
ビデオテープをセットします。

**5.　トレイ開/閉ボタン(DVD)**（参照 81ページ）
ディスクトレイを出し入れします。

**6.　ディスクトレイ(DVD)**（参照 81ページ）
ディスクトレイが開いた状態でディスクをセットします。

**7.　録画－VHSランプ(VHS)**（参照 25ページ）
VHS操作モードのときに点灯します。
録画中には録画ランプが点灯します。

**8.　録画－HDDランプ(HDD)**（参照 25ページ）
HDD操作モードのときに点灯します。
録画中には録画ランプが点灯します。

**9.　録画－DVDランプ(DVD)**（参照 25ページ）
DVD操作モードのときに点灯します。
録画中には録画ランプが点灯します。

**10. VHS/HDD/DVD操作切換ボタン**（参照 25ページ）
VHS/HDD/DVD操作モードを切り換えます。

**11. 再生ボタン(VHS)**（参照 116ページ）
ビデオテープの再生を開始します。

**12. リモコン受光部**
リモコン/らくリモからの信号を受信します。

**13. 表示部**（参照 31ページ）
時計や本機の状態などを表示します。

**14. 停止ボタン(HDD/DVD)**（参照 99ページ）
HDDやDVDの再生や録画を停止します。

**15. 再生ボタン(HDD/DVD)**（参照 99ページ）
HDDやDVDの再生を開始します。
（VHS操作モード時は、先にHDDまたはDVD操作モードに切り換えてください。）

**16. 録画ボタン(HDD/DVD)**（参照 82ページ）
HDDやDVDの録画を開始します。

**17. 放送/入力ボタン**
受信する放送や外部入力を切り換えます。
（アナログ放送、外部入力[L1、L2]、地上デジタル放送、BSデジタル放送、CSデジタル放送[CS1、CS2]を切り換えます。）

**18. チャンネルボタン**
チャンネルを切り換えます。

**19. 解除/ロックスイッチ**（参照 40ページ）
B-CASカードの解除またはロックに使用します。

**20. B-CASカード挿入口**（参照 40ページ）
B-CASカード（付属）を挿入します。

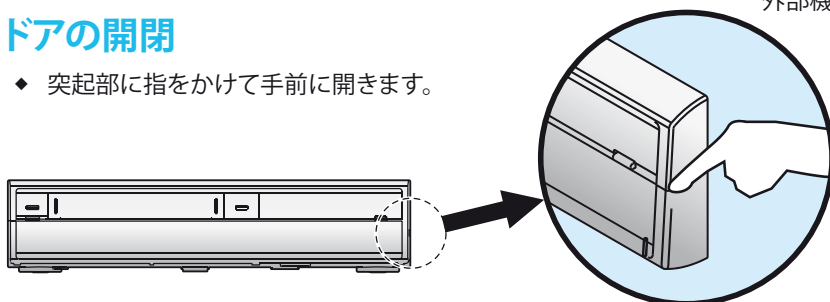
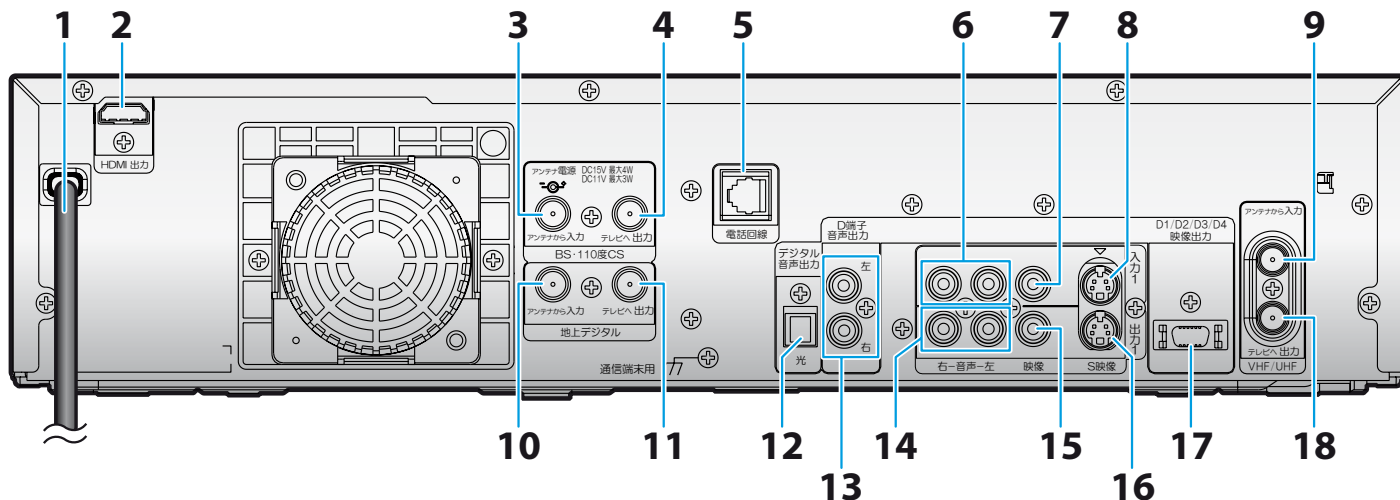
**21. リセットボタン**（参照 184ページ）
表示部が異常な表示をしたり、本機が動かなくなった場合に使用します。先のとがった細いもので押してください。

**22. S映像入力端子(L2)**（参照 42ページ）
外部機器のS映像出力端子と接続します。

**23. 映像入力端子(L2)**（参照 42ページ）
外部機器の映像出力端子と接続します。

**24. 音声入力端子(L2)**（参照 42ページ）
外部機器の音声出力端子と接続します。

### ドアの開閉

- 突起部に指をかけて手前に開きます。

## ◉後面

1. **電源コード**
   プラグをAC100Vのコンセントに差し込みます。
2. **HDMI出力端子**（参照 38ページ）
   外部機器のHDMI入力端子と接続します。
3. **BS・110度CSアンテナ入力端子**（参照 34ページ）
   BS・110度CSアンテナと接続します。
4. **BS・110度CSアンテナ出力端子**（参照 34ページ）
   テレビのBS・110度CSアンテナ端子と接続します。
5. **電話回線端子**（参照 41ページ）
   電話回線と接続します。
6. **音声入力端子(L1)**（参照 42ページ）
   外部機器の音声出力端子と接続します。
7. **映像入力端子(L1)**（参照 42ページ）
   外部機器の映像出力端子と接続します。
8. **S映像入力端子(L1)**（参照 42ページ）
   外部機器のS映像出力端子と接続します。
9. **VHF/UHFアンテナ入力端子**（参照 35ページ）
   VHF/UHF（地上アナログ）対応のアンテナと接続します。
10. **地上デジタルアンテナ入力端子**（参照 34ページ）
    地上デジタル対応のアンテナと接続します。
11. **地上デジタルアンテナ出力端子**（参照 34ページ）
    テレビの地上デジタルアンテナ端子と接続します。
12. **光デジタル音声出力端子**（参照 42ページ）
    オーディオ機器の光デジタル音声入力端子と接続します。
13. **D端子音声出力端子**（参照 37ページ）
    本機のD1/D2/D3/D4映像出力端子とテレビのD映像入力端子と接続したときに、テレビの音声入力端子と接続します。
14. **音声出力端子**（参照 36ページ）
    テレビまたはオーディオ機器の音声入力端子と接続します。
15. **映像出力端子**（参照 36ページ）
    テレビの映像入力端子と接続します。
16. **S映像出力端子**（参照 37ページ）
    テレビのS映像入力端子と接続します。
17. **D1/D2/D3/D4映像出力端子**（参照 37ページ）
    テレビのD映像入力端子と接続します。
18. **VHF/UHFアンテナ出力端子**（参照 35ページ）
    テレビのVHF/UHF（地上アナログ）アンテナ端子と接続します。